

# 平成29年度 安乗保育所屋根等改修工事設計図

## 図 面 リ ス ト

図面番号	図面名称	縮 尺	図面番号	図面名称	縮 尺		図面名称	縮 尺
A-00	表紙、図面リスト	————	A-01	附近見取図、配置図	1/300	A-11	防水詳細図 1	1/20
T-01	改修工事 特記仕様書 NO.1	————	A-02	仕上表	————	A-12	防水詳細図 2	1/20
T-02	改修工事 特記仕様書 NO.2	————	A-03	改修前平面図	1/150	A-13	防水工事収まり詳細図	1/2・1/3
T-03	改修工事 特記仕様書 NO.3	————	A-04	改修後平面図	1/150	A-14	天井伏図	1/100
T-04	改修工事 特記仕様書 NO.4	————	A-05	改修前屋根平面図	1/100	A-15	建具指示図	1/150
T-05	改修工事 特記仕様書 NO.5	————	A-06	改修後屋根平面図	1/100	A-16	建具リスト	1/50
			A-07	立面図 1	1/100			
			A-08	立面図 2	1/100	K-01	仮設計画図 1 (参考図面)	1/150
			A-09	断面図	1/30	K-02	仮設計画図 2 (参考図面)	1/150
			A-10	矩 計 図	1/30			

Ⅱ 建築改修工事仕様

平成29年度 安乗保育所屋根等改修工事 設計図

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年度版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年度版)」(以下「標準仕様書」という。)による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は( / )図、及び機械設備工事の特記仕様書は( / )図による。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

(4) 特記事項に記載の [ . . . ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) 特記事項に記載の ( . . . ) 内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

6) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成24年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

7) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事には「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の処置)によって処理されたものとする。

① 適用基準

② 適用区分

③ 環境への配慮

④ 材料の品質等

1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。

② 建築物解体工事共通仕様書(平成24年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部

2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。

建築工事標準詳細図(平成28年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・風圧力

風速(Vo= 34 m/s)

地面相度区分(区域指定なし)

・積雪荷重

建設省告示第1465号における区域 別表( 32 )

(1.4.1) [1.4.1]

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のi)からiv)を満たすものとする。

i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

iii) 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難燃発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。

iv) i)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次のi)又はii)に該当する材料を指し、同区分「第三种」とは次のiii)又はiv)に該当する材料を指す。

i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三种ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三种ホルムアルデヒド発散建築材料

iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(1.4.2) [1.4.2]

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。

3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次のi)からvi)の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し)を監督職員に提出して承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

i) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。

ii) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。

iii) 安定的な供給が可能であること。

iv) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。

v) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。

vi) 販売、保守等の営業体制を整えていること。

5) 製造業者等に関する資料等の提出を求める材料

・鉄骨柱下無収縮モルタル ・無収縮グラウト材 ・乾式保護材(防水立上部) ・既成調合モルタル(※工事用) ・既成調合自地材 ・ルーフドレイン ・吸水調整材(※利用) ・錠前類 ・クローザー類 ・自動扉機構 ・自閉式上吊り引戸機構(手動開き式) ・重量シャッター ・軽量シャッター ・オーバヘッドドア ・防水剤 ・現場発泡断熱材 ・フリースアクセスフロア ・可動間仕切り ・移動間仕切り(※付いた) ・トイレブース ・煙突成形ライニング材 ・天井点検口 ・床点検口 ・グレーチング ・屋上緑化システム ・トップライト ・エポキシ樹脂 ・ポリマーセメントモルタル ・鋼鉄製ふた

6) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕様する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。

7) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、つづき「三重の木」利用促進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用に努めること。

① 施工調査

6 PCB含有シーリング材の調査

⑦ 化学物質の濃度測定

⑧ 発生材の処理等

⑨ 特定建設資材の処理

① 施工計画調査

本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管を含む)について事前調査、情報収集を行う。

報告書 監督職員に2部提出

立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付

調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。

・埋設配管の状態

範囲、復旧方法 ・図示

・第一次判定(シーリング材種の判定)

日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。

サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( )

・第二次判定(PCB含有量の分析)

専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、PCB含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四角は除去し、採取部の内部(大気にとさらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。

サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( )

i) 工事着手前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。

測定対象室( 保育室 ) 測定箇所数( 1 )

ii) 工事着手前、施工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。

iii) 判定対象室及び測定箇所数は次による。

測定対象室( 保育室 ) 測定箇所数( 1 ) 工事前・工事後

・引渡しを要するもの

・金属類

・PCBを含む機器類( )

・PCB含有シーリング材 使用箇所( )

・特別管理産業廃棄物

廃アスベスト 搬出先( )

・現場において再利用を図るもの

建設汚泥 再利用の方法( )

・再資源化を図るもの

・コンクリート 搬出先( 志摩市内 )

・コンクリート及び鉄から成る建設資材 搬出先( )

・木材 搬出先( )

・アスファルト・コンクリート 搬出先( )

・廃せっこうボード 搬出先( )

② せっこうボード

i) 廃せっこうボードの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、適切に処分する。

ii) 石綿含有廃せっこうボード 搬出先( )

iii) その他の廃せっこうボード(石綿、ヒ素、カドミウム非含有) 搬出先( )

・その他の含有物質( ) 搬出先( )

上記搬出先については、積算上の条件明示であり。処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適切な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。

	工程	作業内容	分別解体等の方法
特記事項	i) 「造成等」	造成等の工事	分別解体等の方法
	ii) 基礎・基礎	基礎、基礎ぐいの工事	
	iii) 上部構造部分・外装	上部構造部分、外装の工事	
	iv) 屋根	屋根の工事	
	v) 建築設備・内装等	建築設備、内装等の工事	
	vi) その他	その他の工事	
解体工事	i) 建築設備、内装材等	建築設備、内装材の取り外し	手作業
	ii) 屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し	
	iii) 外装材、上部構造部分	外装材、上部構造部分の取り壊し	
	iv) 基礎、基礎ぐい	基礎、基礎ぐいの取り壊し	
	v) その他	その他の取り壊し	

・特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称	所在地
コンクリート		
コンクリート及び鉄から成る建設資材		
木材		
アスファルト・コンクリート		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る。)を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

① 足場その他

② 既存部分の養生

③ 監督職員事務所

4 監督職員事務所の備品等

5 仮設便所

6 工事用水

7 工事電力

8 仮設間仕切

③ 施工数量調査

② 降雨等に対する養生方法(とい共)

③ 既存防水の処理

④ 既存防水層の下地補修

10 建設発生土の処理方法

・ 場外指定場所に搬出し、搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。

搬出場所( )

受入条件( )

処分費( )

仮置場( )

・ 「建設発生土情報交換システム」を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を証明する資料を提出する。なお、次の運搬に相当する経費を見込んでいる。

搬出距離( )

D/D区間( )

仮置場( )

・ 場内指定場所に敷き均し

・ 場内指定場所に堆積

・ 撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者

撮影箇所数( ) 箇所

・航空写真( ) 箇所

・電子データー(JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度)1部

画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの

・カラー印刷紙キャビネット版( ) 枚

・四つ切( ) 枚 ・アルミ額縁

・半切( ) 枚 ・アルミ額縁

・撮影者：任意

撮影箇所数( ) (外観4面各室2面程度) 箇所

・電子データー(JPEGフルカラー)1部

画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上

・カラー印刷紙キャビネット版(A4用紙に1ページ当たり3枚(L版)程度1部)

[2.2.1]

① 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づき足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

② 内部足場 種別( ) ぎゃつ、足場板等、階段欄足場( ) さび緊結

③ 外部足場 種別( ) A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 [表2.2.1]

・防護シートを設置

・養生シート ・ ねつ状養生シート ・ 金網 ・ 防音シート ・ 防音バツ

材料、除去材等の運搬方法 [表2.2.2]

種別( ) A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種

C種：利用可能なエレベーター( )

D種：利用可能な階段( )

[2.3.1]

1) 養生の方法等

・既存部分 養生の方法( ) ビニルシート等( ) ペニヤ

・既存家具等 養生の方法( ) ビニルシート等( )

・既存ブラインド、カーテン等 脱着( ) 図示( )

・備品、机、ロッカー等の移動( ) 別途協議( )

② 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・設ける( ) 設けない

規模(mf程度) ・ 10 ・ 15 ・ 35 ・ 65 ・ 100 [2.3.1]

備品等の設置

種類	機・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	4組	1台	1個	1個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	個
種類	消火器	掃除具	携帯電話加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数量	1個	1個	1台	1台	1台

構内既存の施設( ) 利用できない

・利用できる( ) ・有償 ・ 無償

構内既存の施設( ) 利用できない

・利用できる( ) ・有償 ・ 無償

構内既存の施設( ) 利用できない

・利用できる( ) ・有償 ・ 無償

1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示

2) 仮設間仕切りの種別と材質等 [2.3.2] [表2.3.1]

種別	下地	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填剤
・A種	・木	・せっこうボード(9.5mm)	・無し	・有り
・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0mm)	・片面	
・C種	・壁紙	・防炎シート		

充填剤：グラウトA32k (厚：50mm以上)

3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装
・木製	・合板張り程度	・無し
		・片面

[1.5.2~3]

調査範囲 ・ 図示

防水改修範囲

調査方法 ・ 図示

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示

調査報告書 提出部数( ) 2部

[3.1.3]

① 改修標準仕様書3.1.3 (e) ①~③による。

[3.2.3、4、6]

既存保護層の撤去 ・ 行う(範囲・図示( ))

・行わない

既存防水層の撤去 ・ 行う(範囲・図示( ))

・行わない

露出防水層表面の仕上げ塗装除去

・行う(・M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) ・行わない

[3.2.6]

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等( ) 図示

POS工法及びPOSI工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置

① 改修標準仕様書3.2.6 (d) (3) (vi) ①~③による

[3.3.2~4.3.3.5]

③ アスファルト防水

防水改修工事

6 改質アスファルトシート防水

屋根保護防水防水層の種類

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ

・こて仕上げ ・ 水下 80mm以上

・床タイル張り ・ 水下 60mm以上

・乾式保護材

窓系系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの

(品質・性能)

建築材料等品質性能表による

(試験方法)

建築材料等品質性能表による

屋根露出防水防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[S]	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4	図示		・製造所の指定による	・製造所の指定による		
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dに ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2			・製造所の指定による	・製造所の指定による		脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dに ・設ける ・設けない

(材質)

※JIS A 9511によるA種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの

(厚さ) ・ 25mm

脱気装置の種類及び設置数量

・アスファルトルーフィング種類製造所の指定による

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい

位置 ・ 図示

屋内防水

工法	種別	施工箇所	備考
・P1E	・E-1		保護層 ・ 設ける
・P2E	・E-2		

押え金物の材質及び形状

・アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度

屋根排水溝 ・ 図示

[3.4.2]

防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	高日射反射率防水の適用[S]	備考			
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-T3	図示						
・M3AS ・P0AS	・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J2 ・AS-J4							
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1					・製造所の指定による	・製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用Dに ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

・改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による

脱気装置の種類及び設置数量

・改質アスファルトシート製造所の指定による

押え金物

・改質アスファルトシート製造所の仕様による

訂正

工事名称

設計

片山

片山正司

第一級建築士 大臣登録 第195765号

図面名

改修工事特記仕様書No.1

縮尺

A3：A2×71%

図面番号

T-01

平成29年度 安乗保育所屋根等改修工事 設計図

片山

建築設計 間34

三重県知事登録 第1-2154号

[illegible]



4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁改修

①所要量の確認

②既存塗膜等の除去及び下地処理

③下地調整塗材

④仕上げ塗材仕上げ

特記事項

工程ごとの所要量の確認

改修標準仕様書表4.6.1による

4.6.2

表4.6.1

工法

処理範囲

下地面の補修

サンダー工法

軒天全面

一部立上り壁：X-2 施工部分

（既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とする）

高圧水洗工法

加圧力

30MPa程度以上

塗膜はく離剤工法

図示

水洗い工法

図示

外壁・軒天

下地調整塗材

ポリマーセメントモルタル

防水形仕上げ塗材主材

4.6.4

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

規制対象外

新規仕上塗材の種類

4.6.5

種類

呼び名

防火材料

仕上げの形状及び工法等

薄付け仕上塗材

外装薄塗材Si

可とう形外装薄塗材Si

外装薄塗材E

可とう形外装薄塗材E

防水形外装薄塗材E

外装薄塗材S

厚付け仕上塗材

外装厚塗材C

外装厚塗材Si

外装厚塗材E

複層仕上塗材

複層塗材CE

可とう形複層塗材CE

複層塗材Si

複層塗材E

複層塗材RE

防水形複層塗材CE

防水形複層塗材E

防水形複層塗材RE

防水形複層塗材RS

可とう系改修用仕上塗材

可とう系改修塗材E

可とう系改修塗材RE

可とう系改修塗材CE

砂壁状

ゆず肌状（吹付け・ローラー塗り）

さざ波状

平たん状

凹凸状（吹付け・こて塗り）

着色骨材砂壁状（吹付け・こて塗り）

砂壁状じゅらく

吹散し

凸部処理

平たん状

凹凸状

ひき起こし

かき落とし

上塗材

適用する

適用しない

ゆず肌状

凸部処理

凹凸模様

上塗材

耐候性

耐候形3種

溶媒

水系

溶剤系

樹脂

標準色

待注色

外観

つやあり

つやなし

メタリック

増塗材

適用する

適用しない

平たん状

さざ波状

ゆず肌状

樹脂

アクリル系

ウレタン系

シリコン系

ふっ素系

5

マステック塗材塗り

4.6.6

種類

A種

B種

6

建具改修工事

5.1.3

1

改修工法

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

アルミニウム製建具

カバー工法

建具表による

樹脂製建具

外部

内部

建具表による

鋼製軽量建具

建具表による

ステンレス製建具

建具表による

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

図示

新規建具周囲の補修工法及び範囲

図示

2

防火戸

5.1.4

適用する

適用箇所（建具表による）

適用しない

3

見本の製作等

5.1.5

建具見本の製作

行う（建具符号：）

行わない

建具見本の程度

工事を使用するものとして、あらかじめ製作する

納まり等がわかる程度のもの

特殊な建具の仮組

行う（建具符号：）

行わない

4

防犯建物部品

5.1.7

適用する（）

適用箇所（建具表による）

適用しない

5

アルミニウム製建具

5.2.2

5.2

表5.2.2

性能等級

外部に面する建具

A種（建具符号：建具表による）

B種（建具符号：建具表による）

C種（建具符号：建具表による）

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

耐震ドアセット

適用する

面内変形追従性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

枠の見込み寸法

建具表による

表面処理

外部に面する建具

B-1種

B-2種

皮膜等の種類（改修標準仕様書表5.2.2による）

着色（アンバー

ブロンズ

ブラック系

ステンカラー）

C-1種

C-2種

皮膜等の種類（改修標準仕様書表5.2.2による）

着色（アンバー

ブロンズ

ブラック系

ステンカラー）

結露水の処理方法

図示

水切り板、ぜん板

図示

網戸等

5.2.3

種類

材質

線径

網目

防虫網

合成樹脂製

ガラス繊維入り合成樹脂製

ステンレス（SUS316）製

0.25mm以上

16～18メッシュ

防鳥網

ステンレス（SUS304）線材

1.5mm

網目寸法15mm

性能等級

外部に面する建具

A種（建具符号：建具表による）

B種（建具符号：建具表による）

C種（建具符号：建具表による）

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

枠の見込み寸法

建具表による

表面色

標準色

待注色

水切り板、ぜん板

図示

ガラス

複層ガラス

7

鋼製建具

5.2.2

5.4.2～4

表5.4.2

性能等級

簡易気密型

適用する（建具符号：建具表による）

適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

S-4（建具符号：建具表による）

S-5（建具符号：建具表による）

S-6（建具符号：建具表による）

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

耐震ドアセット

適用する

面内変形追従性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

鋼板

材料

めっき付着量

厚さ

JIS G 3302

Z12又はF12

標準仕様書表

5.4.2による

JIS G 3317（溶融亜鉛—5%アルミニウム合金めっき鋼板）

Y08

5.4.2による

性能等級

簡易気密型

適用する（建具符号：建具表による）

適用しない

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

耐震ドアセット

適用する

面内変形追従性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

鋼板

亜鉛めっき鋼板

ビニル被膜鋼板

カラー鋼板

鋼板の厚さ

改修標準仕様書表5.5.1による

召合せ、縦小口包み板の材質

鋼板

8

鋼製軽量建具

5.2.2

5.2～4

性能等級

簡易気密型

適用する（建具符号：建具表による）

適用しない

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

耐震ドアセット

適用する

面内変形追従性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

5

ステンレス製建具

5.2.2

5.4.2

5.6.2～4

性能等級

簡易気密型

適用する（建具符号：建具表による）

適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

S-4（建具符号：建具表による）

S-5（建具符号：建具表による）

S-6（建具符号：建具表による）

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

耐震ドアセット

適用する

面内変形追従性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

鋼板（屋外）

SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、

鋼板（屋内）

SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、SUS430

表面仕上げ

H L仕上げ

鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工

普通曲げ

角出し曲げ

10

建具用金物

5.7.2、3

金物の種類・見え掛り部の材質等

改修標準仕様書表5.7.1による

樹脂製建具に使用する丁番

改修標準仕様書表5.7.3による

握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置

建具表による

錠前類

シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠（品質）

工事建築材料等品質性能表による（性能）

工事建築材料等品質性能表による（試験方法）

錠前類

レバーハンドル（性能）

工事建築材料等品質性能表による（試験方法）

クロウザ錠（品質・性能）

工事建築材料等品質性能表による（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

11

鍵

5.7.4

マスターキー

製作する

製作しない

既存のマスターキーに合わせる

その他の鍵

各室3本1組

鍵箱

無

有

12

自動ドア開閉装置

5.8.2、3

自動ドア

性能

防錆

センサーの種類

凍結防止

SSLD-1

改修標準仕様書表

5.8.1による

SSLD-2

SSLD-1

SSLD-2

適用する

適用しない

SIID-1

改修標準仕様書表

5.8.2による

SIID-2

図示

マトツスイッチ

光線（反射）スイッチ

熱線スイッチ

音波スイッチ

光電スイッチ

電圧スイッチ

タッチスイッチ

押しボタンスイッチ

ペダルスイッチ

多機能トイレスイッチ

行う（適用箇所は建具表による）

行わない

（品質・性能）

工事建築材料等品質性能表による（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

13

自閉式上吊り引戸装置

5.9.3

性能

（試験）

改修標準仕様書表5.9.1による

工事建築材料等品質性能表による

14

重量シャッター

5.10.2、3

シャッターの種類

耐風圧強度

一般重量シャッター

耐風圧強度（）

N/㎡

外壁用防火シャッター

耐風圧強度（）

N/㎡

屋内用防火シャッター

屋内用防振シャッター

開閉機能による種類

上部電動式（手動併用）

上部手動式

一般重量シャッターのシャッターケース

設ける

設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類

JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）

JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）

めっきの付着量

Z12又はF12

15

軽量シャッター

5.11.2～4

開閉形式

手動式

上部電動式（手動併用）

耐風圧強度（）

N/㎡

スラットの材質

JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）

めっき付着量（Z06又はF06）

JIS G 3322（塗装溶融5%アルミニウム—亜鉛合金めっき鋼板）

めっき付着量（AZ90）

スラットの形状

インターロッキング形

オーバーラッピング形

16

オーバーヘッドドア

5.12.2、3

性能等級

簡易気密型

適用する（建具符号：建具表による）

適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

S-4（建具符号：建具表による）

S-5（建具符号：建具表による）

S-6（建具符号：建具表による）

防音ドアセット、防音サッシ

適用する

遮音性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

断熱ドアセット、断熱サッシ

適用する

断熱性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

耐震ドアセット

適用する

面内変形追従性の等級（建具符号：建具表による）

適用しない

鋼板（屋外）

SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、

鋼板（屋内）

SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、SUS430

表面仕上げ

H L仕上げ

鏡面仕上げ

ステンレス鋼板の曲げ加工

普通曲げ

角出し曲げ

17

ガラス

3.7

5.13.2～4

表5.13.1

合わせガラス

性能

色調

フロート合わせガラス

フロート板合わせガラス

I類

網入磨き合わせガラス

網入磨き、フロート板合わせガラス

II-1類

II-2類

皿類

強化ガラス

材料板ガラスによる種類

種類

性能

フロートガラス

フロート強化ガラス

熱線吸収強化ガラス

I類

皿類

型板ガラス

型板強化ガラス

熱線吸収板ガラス

性能

色調

熱線吸収フロート板ガラス

熱線吸収網入磨き板ガラス

1種

2種

ブルー

グレー

ブロンズ

複層ガラス

性能

日射熱遮へい性

断熱複層ガラス

1種

2種

U1

U2

U-3-1

U-3-2

日射熱遮へい複層ガラス

4種

5種

E4

E5

熱線反射ガラス

性能

日射熱遮へい性

耐久性

熱線反射ガラス

色調（ブルー

グレー）

1種

2種

3種

A種

B種

高性能熱線反射ガラス

色調（ブロンズ

シルバー）

B種

反射被膜面

内部

外面

映像調整

行わない

行う

倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称

色調

フロート倍強度ガラス

熱線吸収倍強度ガラス

ブルー

グレー

ブロンズ

ガラス留め材及び溝の大きさ

建具の種類

ガラス留め材

ガラス溝の大きさ（mm）

アルミニウム製

シーリング材

ガスケット

グレイジングチャンネル形

図示

改修標準仕様書表

5.13による

鋼製及び鋼製軽量

シーリング材

改修標準仕様書表

5.13による

ステンレス製

シーリング材

改修標準仕様書表

5.13による

18

ガラスブロック

5.13.5

表面形状

呼び寸法

厚さ

色調

目地幅（mm）

伸縮調整

防火

正方形

145×145

95

クリア白

平積み

8～15

目地

6m以下

10～25

なし

有り

160×160

95

15～25

15以下

10～25

有り

200×200

95

15～25

15以下

10～25

有り

320×320

95

80

6以上

有り

250×125

80

320×160

95

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。

壁用金属及び補強材

設ける（形状

図示

設けない

力骨

材質

ステンレス鋼（SUS304）

寸法

径5.5mm

形状

はしご形状横筋及び単筋

化粧目地モルタルの色（）

金属製化粧カバー

材質

ステンレス製

アルミニウム製

寸法

図示

形状

図示

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法

適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法）

適用しない

ガラスブロック製造所の仕様による

図示

名称

種類

張り面

性能値

ガラス飛散防止フィルム

GS

内張り

外張り

飛散防止率D1

日射調整フィルム

図示

品質

JIS A 5759による

訂正

工事名称

設計

建築設計

間34

三重県知事登録

第1-2154号

一級建築士

大臣登録

第195765号

図面名

改修工事特記仕様書No. 3

縮尺

A3：A2×71%

図面番号

T-03

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
⑥ 内装改修工事	① 改修範囲	既存間仕切り壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井・壁及び床の改修範囲 ○壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ○壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ○既存のまま ・図示	7 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材	12 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 ・改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ スタッドの高さが9mmを超える場合 ※図示 ・	12 合成樹脂塗床	種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 弾性フル樹脂系塗床 ・厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床 ・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法 ・薄膜型塗床材 ・フル樹脂塗床 (JIS K 5970)	⑥ 内装改修工事	12 合成樹脂塗床	種別 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 弾性フル樹脂系塗床 ・厚膜型塗床材 Eポキシ樹脂系塗床 ・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法 ・薄膜型塗床材 ・フル樹脂塗床 (JIS K 5970)
	2 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 ・仕上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・	⑧ 床張り用合板等	ホルムアルデヒド放散量 ○規制対象外 ・第三種 ・普通合板 [G] ・構造用合板 [G] ・パーティクルボード [G] ・構造用パネル	14 ビニル床シート	⑩ ビニル床シート	種別 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ○発泡層のないもの ・発泡層のあるもの	⑨ フローリング張り	⑨ フローリング張り	⑨ フローリング張り	⑨ フローリング張り
	3 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修 ・改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない) ・図示	⑨ 接着剤	接着剤に含まれる可塑剤は、難燃発性のものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ○規制対象外 ・	15 ビニル床タイル	⑪ ビニル床タイル	種別 JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ・F T (複層ビニル床タイル) ・K T (コンポジットビニル床タイル) ・F O A (置敷きビニル床タイル)	20 畳敷き	⑩ フローリング張り	⑩ フローリング張り	⑩ フローリング張り
	4 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種	10 防湿・防蟻処理	防湿、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位： ( )	16 ゴム床タイル	⑫ ゴム床タイル	材質 ・軟質 ・硬質 高さ (mm) ・60 ・75 厚さ (mm) ・1.5以上		⑪ フローリング張り	⑪ フローリング張り	⑪ フローリング張り
	5 製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」以外の製材	11 軽量鉄骨天井下地	野縁等の種類 ・野縁 (・25 形 ・19 形) 屋内 (・19 形 ・25 形) ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ・適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.5 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野縁の間隔 ・図示 ・ 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う (屋外の場合の方法： ・行わない) ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ・図示 ・ ・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ・改修標準仕様書6.6.4 (h) (1) (2)による ・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ・図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ・図示 ・ 補強方法 ・図示 ・	17 カーペット敷き	⑬ カーペット敷き	・織じゅうたん ・A種 ・B種 ・C種		⑪ フローリング張り	⑪ フローリング張り	⑪ フローリング張り
6 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 ・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材										

訂正

工事名称  
平成29年度 安乗保育所屋根等改修工事 設計図

設計  
片山

建築設計  
間34

マサンヨシ  
三重県知事登録 第1-2154号

一級建築士 大臣登録 第195765号  
片山正司

図面名  
改修工事特記仕様書No. 4

縮尺  
A3：A2×71%

図面番号  
T-04

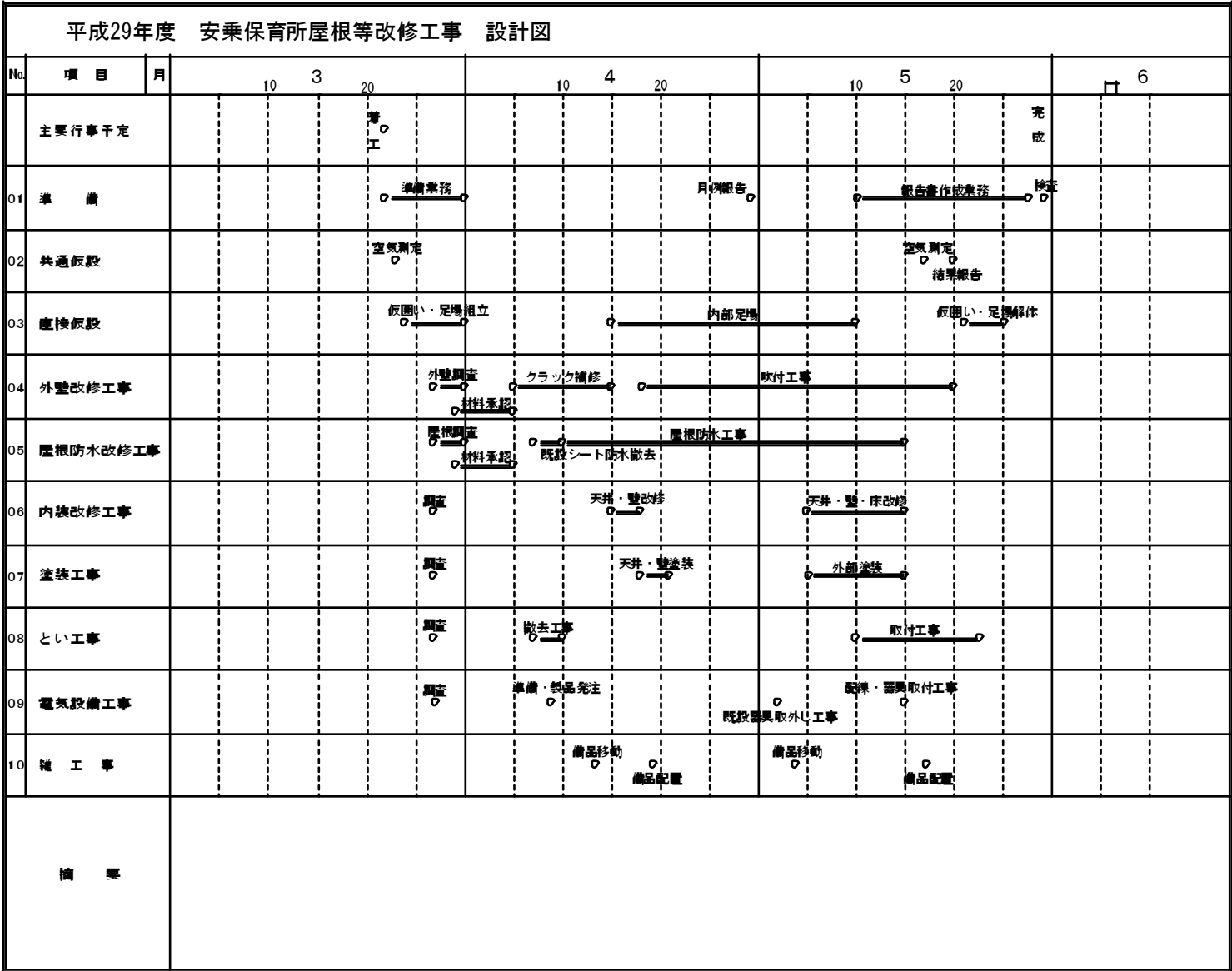
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
⑥ 内装 改修 工事	⑬ せっこうボード その他のボード 及び合板張り	⑬ 						

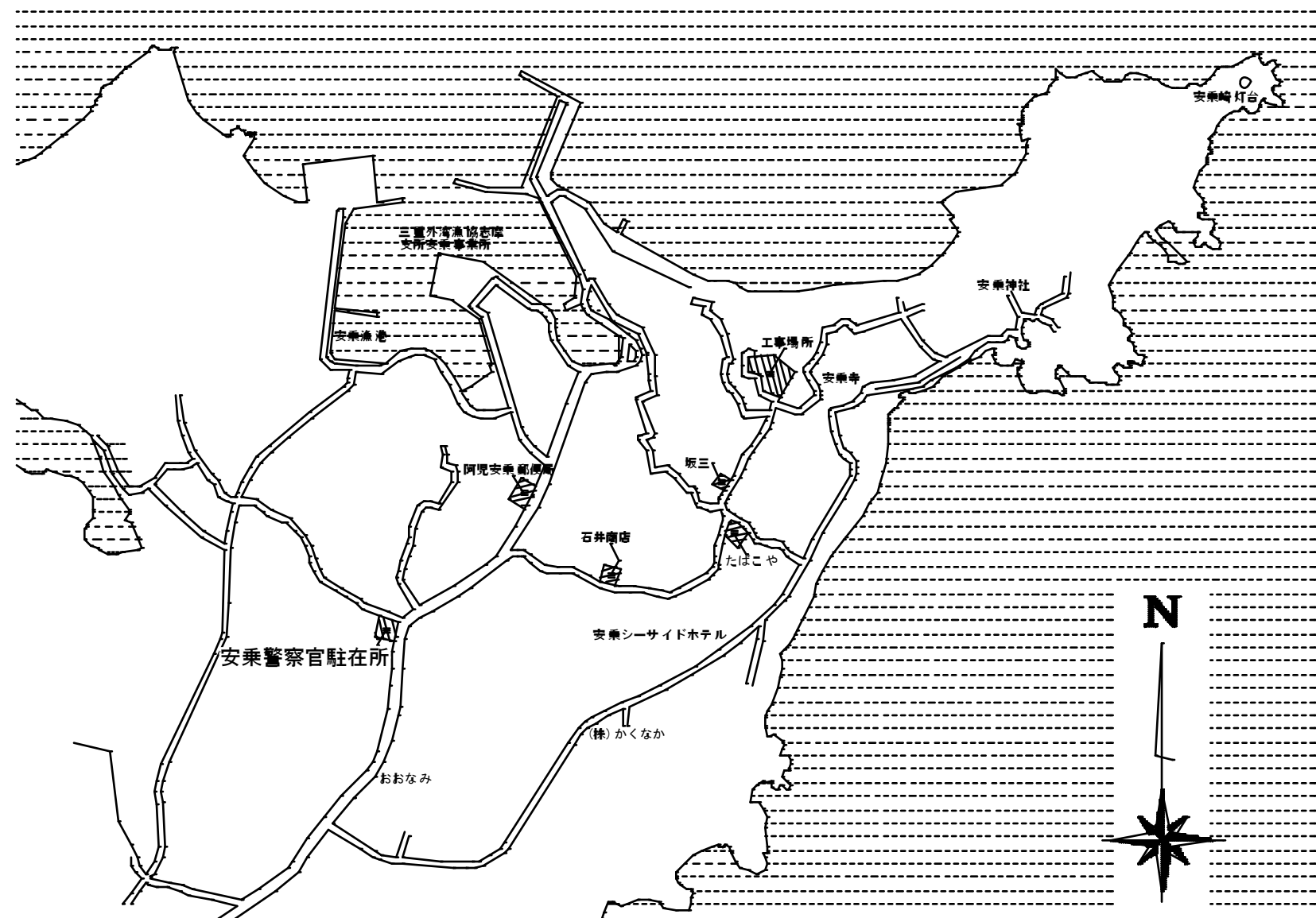
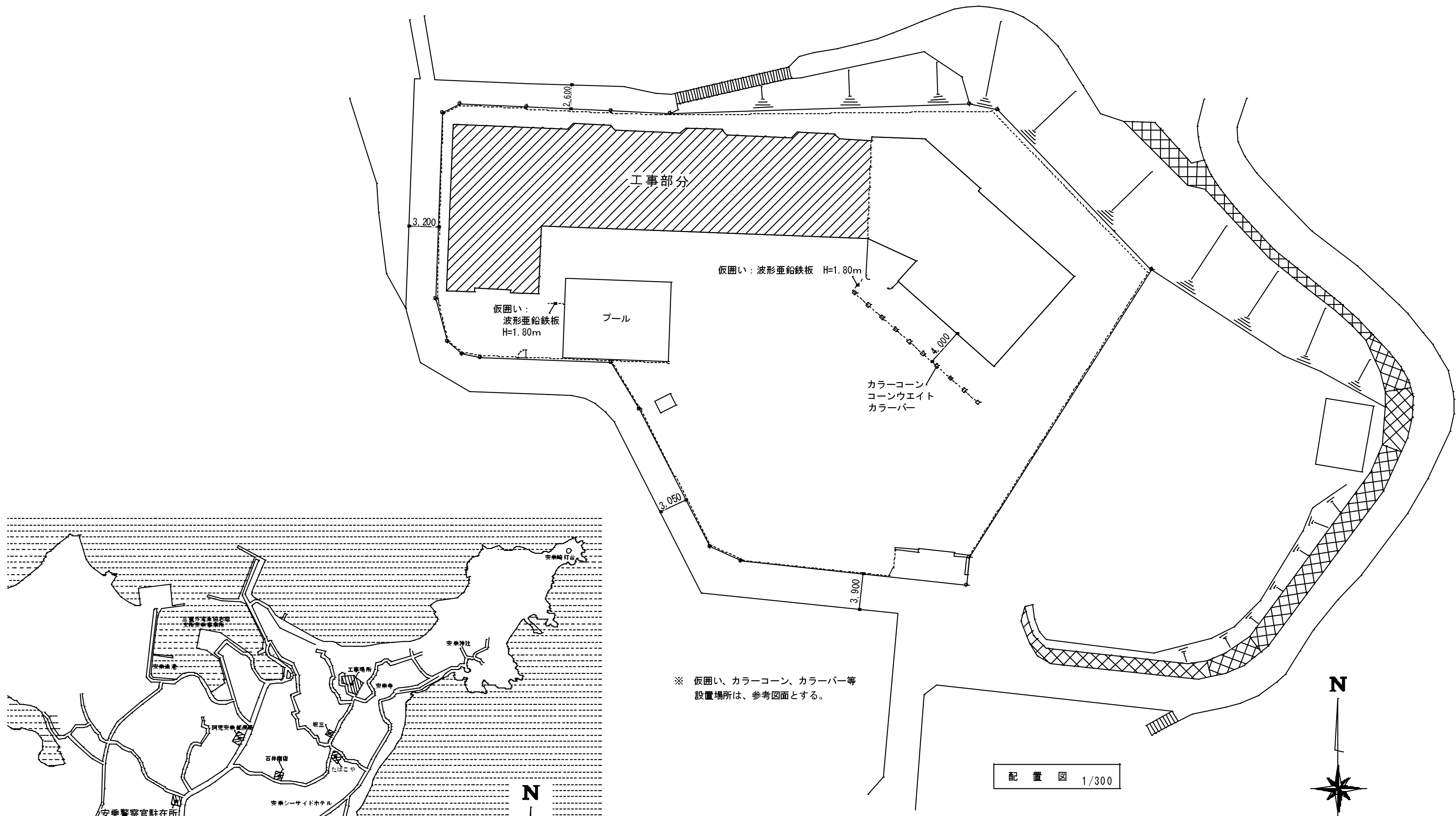
塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
①合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP) 塗料の種類 ・1種 ・2種	木部屋外	・B種 ・	・A種 ・
	木部屋内	・B種 ・	・B種 ・
	鉄鋼面	・B種 ・	・B種・A種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	・A種 ・	・B種 ・
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	・B種 ・	・B種 ・
・クリヤラッカー塗り (CL)		・B種 ・ ・A種	・B種・A種
・フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)		—	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		・B種 ・ ・A種	・B種・A種
・耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 ( )	級	A種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 ( )	級	A種
	コンクリート面及び押出成形 モルタル板面	・	・
②つや有合成樹脂 エマルションペイント (EP-G)	コンクリート面等	・B種 ・	・B種・A種
	屋内の木部	・B種 ・	・A種 ・
	屋内の鉄鋼面	・B種 ・	・B種・A種
・屋内の亜鉛めっき鋼面		・B種 ・	・B種・A種
・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		・B種 ・	・B種 ・
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)		・B種 ・	・B種・A種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		・B種 ・ ・A種	・B種・A種
・ラッカーエナメル塗り (LE)		・B種 ・ ・A種	・B種・A種
・オイルステイン塗り (OS)		—	—
・木材保護塗料塗り (WP)		・B種 ・ ・A種	・B種・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (コンクリート面、鉄鋼面、ガラス面、  
せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えの場合のしき止め  
・改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・  
合成樹脂エマルションペイント塗り替えの場合のしき止め  
・改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする ・

・高日射反射塗料塗り [G]  
下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ・RA種 ・RB種 ・RC種

工程	塗料その他			塗付け量 (kg/m <sup>2</sup> )
	規格番号	規格名称	種類 等級	
塗料塗り	JISK5675	耐候性 屋根用塗料	2種 ・1級 ・2級 ・3級	塗料製造所の仕様による





附近見取図

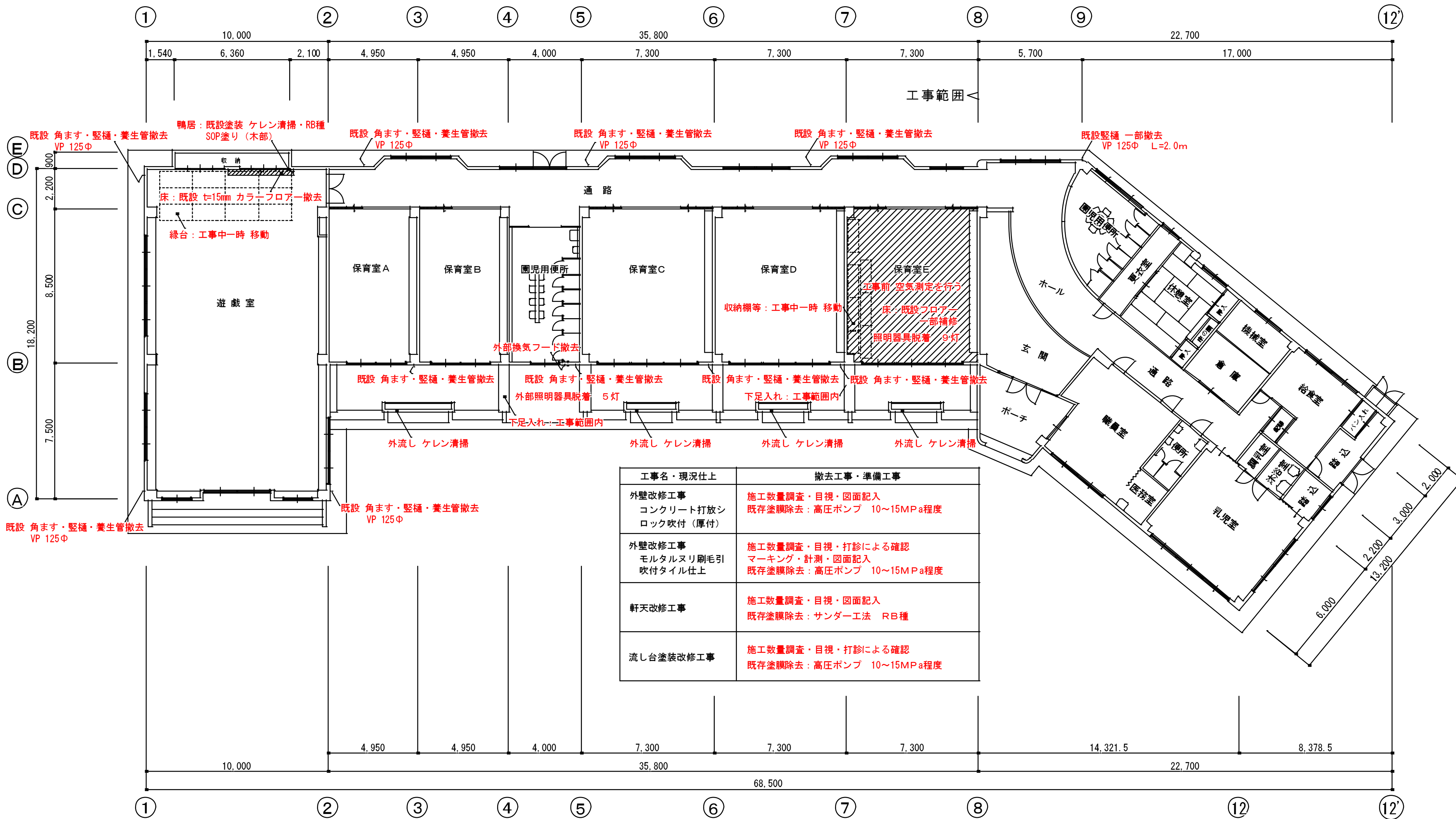
外 部 仕 上 表				
名 称	改 修 前 仕 上	処 理 （ 範 囲 ）	改 修 後 仕 上 げ	
屋 根 ： 遊 戯 室	シ ー ト 防 水	全 面 ： 撤 去    全 面 ： 高 圧 水 洗	平 部 ： ウ レ タ ン 塗 膜 防 水    X-1   緩 衝 工 法 仕上塗料塗り ウレタン防水材（1類）塗り ウレタン防水材塗り 通気緩衝シート張り 接着剤塗り 下地調整：ポリマーセメントペースト	立 上 り 部 ： ウ レ タ ン 塗 膜 防 水    X-2   密 着 工 法 仕上塗料塗り ウレタン防水材（1類）塗り ウレタン防水材塗り ウレタン防水材塗り    補強布張り プライマー塗り 下地調整：ポリマーセメントペースト
屋 根 ： 保 育 室	シ ー ト 防 水	一 部 ： 撤 去    撤 去 部 分 ： 高 圧 水 洗	平 部 ： ウ レ タ ン 塗 膜 防 水    X-1   緩 衝 工 法 仕上塗料塗り ウレタン防水材（1類）塗り ウレタン防水材塗り 通気緩衝シート張り 接着剤塗り 下地調整：ポリマーセメントペースト	立 上 り 部 ： ウ レ タ ン 塗 膜 防 水    X-2   密 着 工 法 仕上塗料塗り ウレタン防水材（1類）塗り ウレタン防水材塗り ウレタン防水材塗り    補強布張り プライマー塗り 下地調整：ポリマーセメントペースト
屋 根 ： 廊 下 等	保護モルタル塗り 目地切り	目 地 清 掃    全 面 ： 高 圧 水 洗	平 部 ： ウ レ タ ン 塗 膜 防 水    X-1   緩 衝 工 法 仕上塗料塗り ウレタン防水材（1類）塗り ウレタン防水材塗り 通気緩衝シート張り 接着剤塗り 下地調整：ポリマーセメントペースト 目地モルタル詰め 目地テープ張り    (巾=150mm)	立 上 り 部 ： ウ レ タ ン 塗 膜 防 水    X-2   密 着 工 法 仕上塗料塗り ウレタン防水材（1類）塗り ウレタン防水材塗り ウレタン防水材塗り    補強布張り プライマー塗り 下地調整：ポリマーセメントペースト

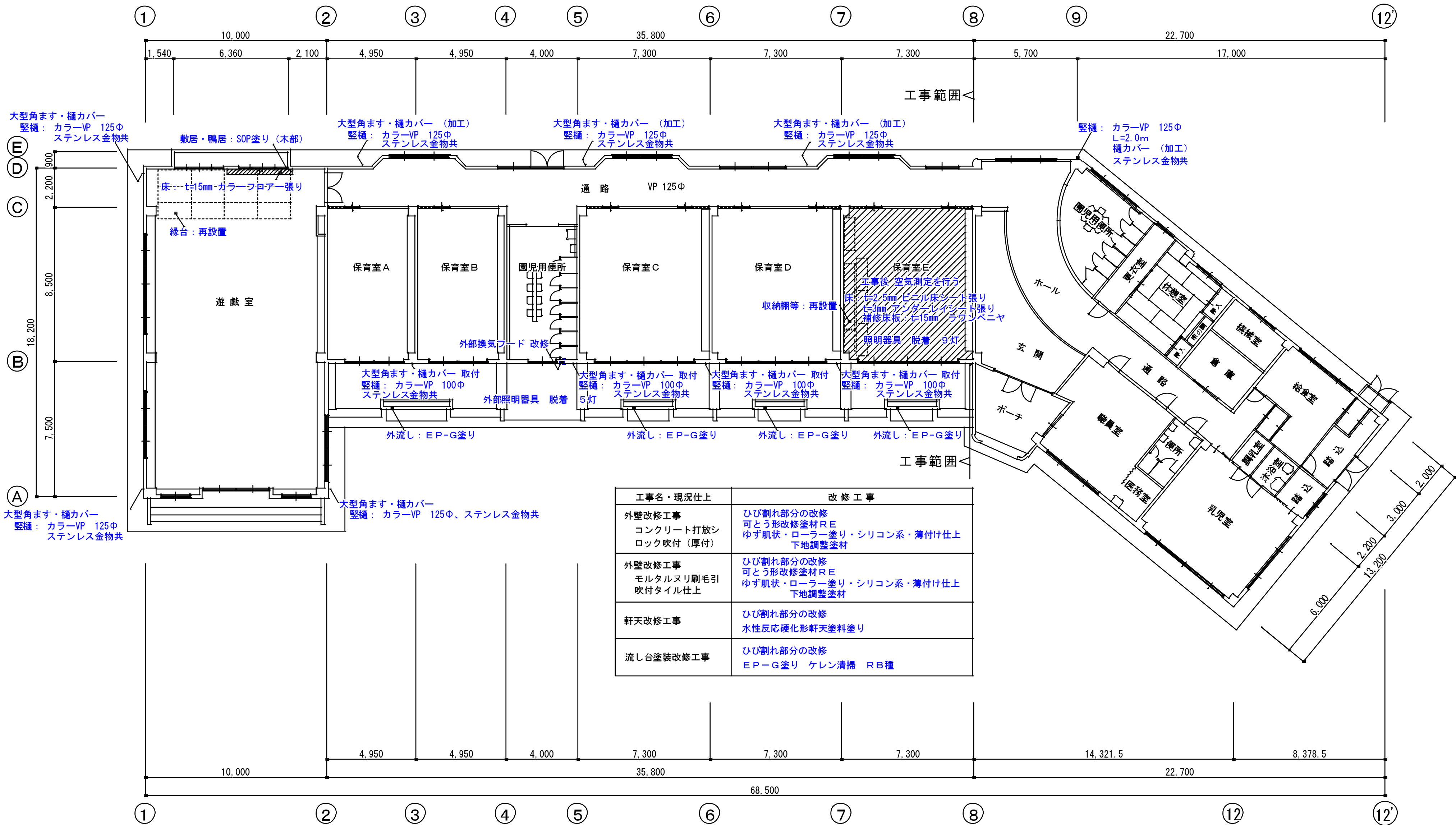
※    ス テ ン レ ス 脱 気 筒 ・ ・ ・    50㎡程度に    1ヶ所とする

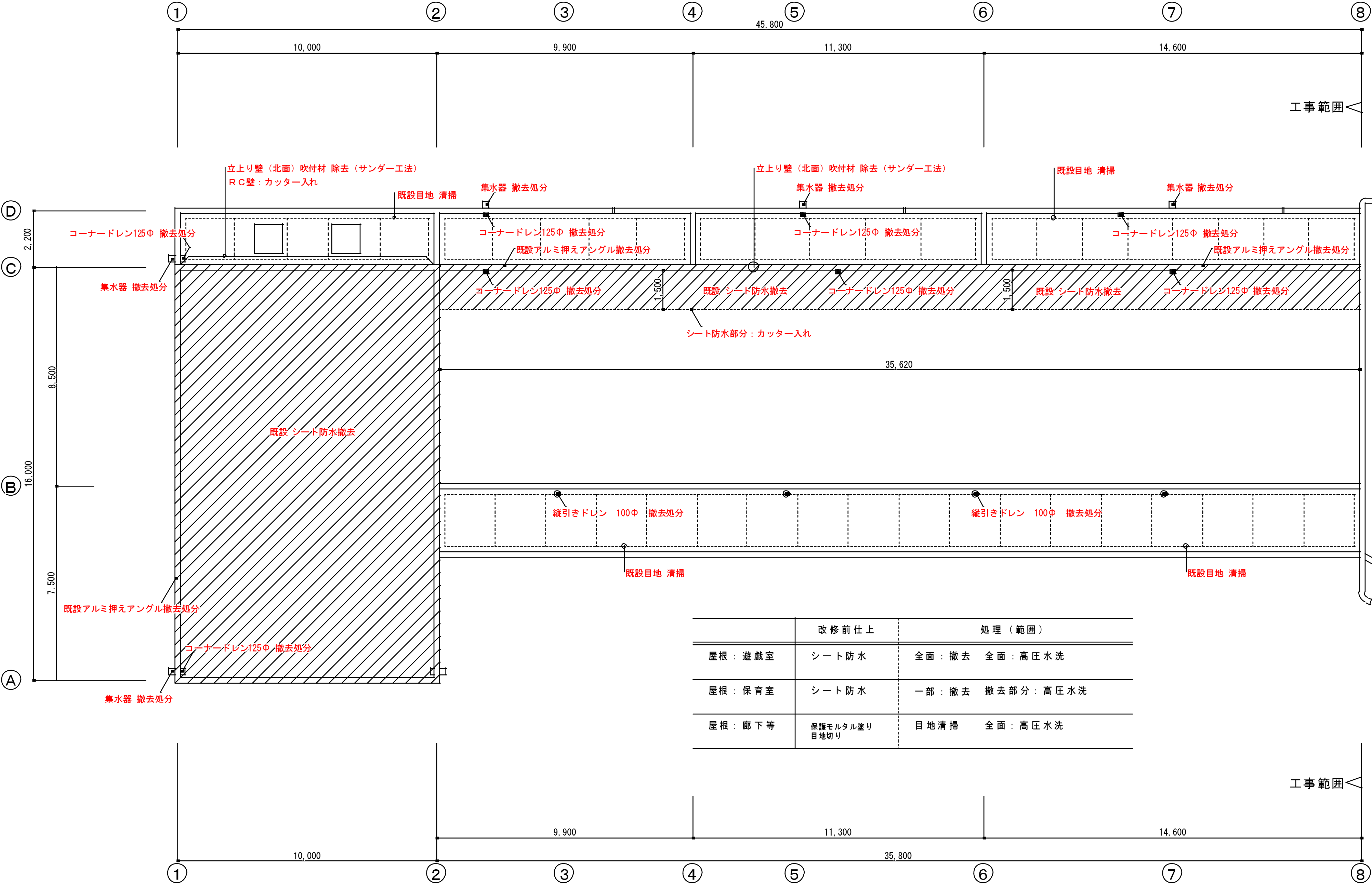
改 修 前 仕 上	準備工事・除去工事 等	改修工事	とい工事
外壁改修工事 コンクリート打放シ    ロック吹付（厚付）	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ   10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材	既設 角ます、堅樋、養生管   撤去処分  大型角ます、堅樋   カラーVP   100Φ、   樋カバー、ステンレス金物  大型角ます、堅樋   カラーVP   125Φ、   樋カバー、ステンレス金物  一部 樋カバー   加工の上取付
外壁改修工事 モルタルヌリ刷毛引    吹付タイル仕上	施工数量調査・目視・打診による確認 マーキング・計測・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ   10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材	
軒天改修工事 塗装仕上げ	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：サンダー工法    RB種	ひび割れ部分の改修 水性反応硬化形軒天塗料塗り	
流し台塗装改修工事 モルタル塗コテ押え    AEP（2回塗）	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ   10～15MPa程度	ケレン清掃    RB種 EP-G塗り	
換気孔塗装改修		下地けれん清掃    RB種 弱溶剤2液シリコン系塗料塗り    、下地調整共	

内部仕上表					
室 名		床	壁	天 井	備 考
遊 戯 室	改 修 前	一部   t=15mm   カラーフローア   撤去処分	一部   t=6mm   シナベニヤ   撤去処分	一部   t=6mm   シナベニヤ   撤去処分	
	改 修 後	一部   t=15mm   カラーフローア張り	一部   t=5.5mm   シナベニヤ張り   SOP塗り	一部   t=6mm   シナベニヤ張り   SOP塗り	
保 育 室	改 修 前	破損床組・床板：    撤去処分	_____	t=9mm   化粧吸音せっこうボード   撤去処分	既 設   塩 ビ 廻 縁   撤 去 処 分
	改 修 後	破損床組・床板：   補修工事 t=2.5mm   ビニル床シート張り t=3mm   アンダーレイシート張り	_____	t=9.5mm   化粧吸音せっこうボード   撤去処分	塩 ビ 廻 縁  天 井 点 検 口 ・ 改 修
廊        下	改 修 前	_____	_____	一部    t=9mm   化粧吸音せっこうボード   撤去処分	
	改 修 後	_____	_____	一部    t=9.5mm   化粧吸音せっこうボード   撤去処分	
そ の 他 工 事		照 明 器 具   脱 着                    換 気 フ ー ド 改 修			





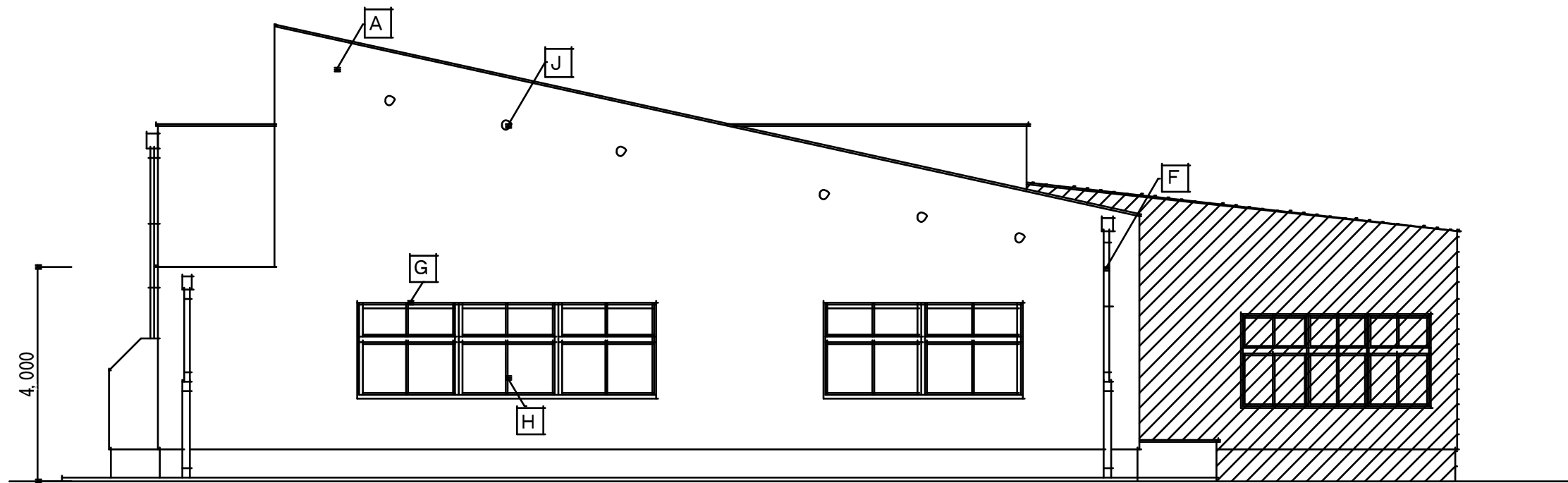




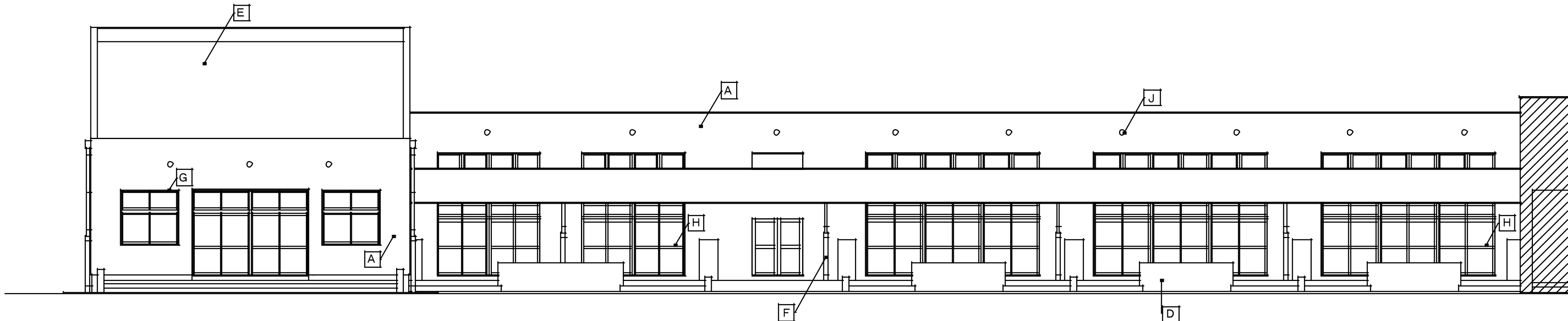






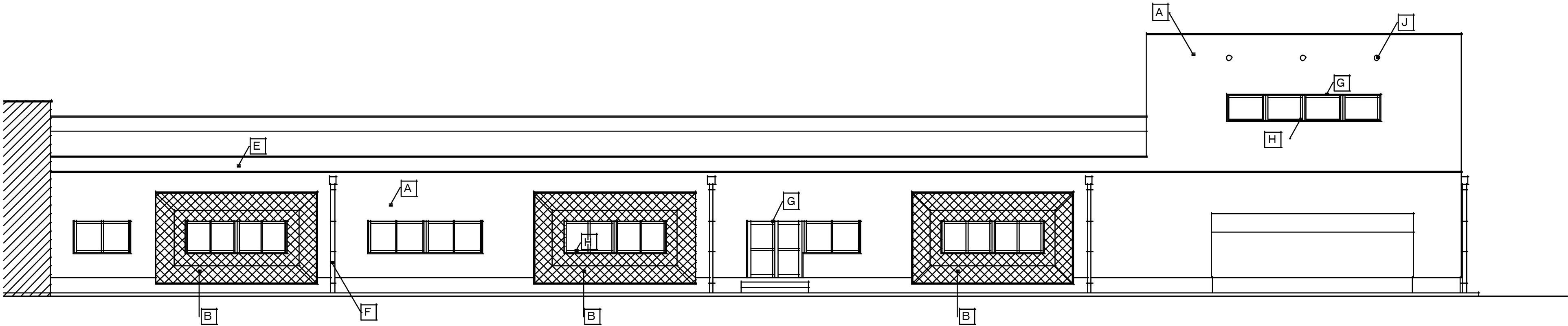


西面図 1/100

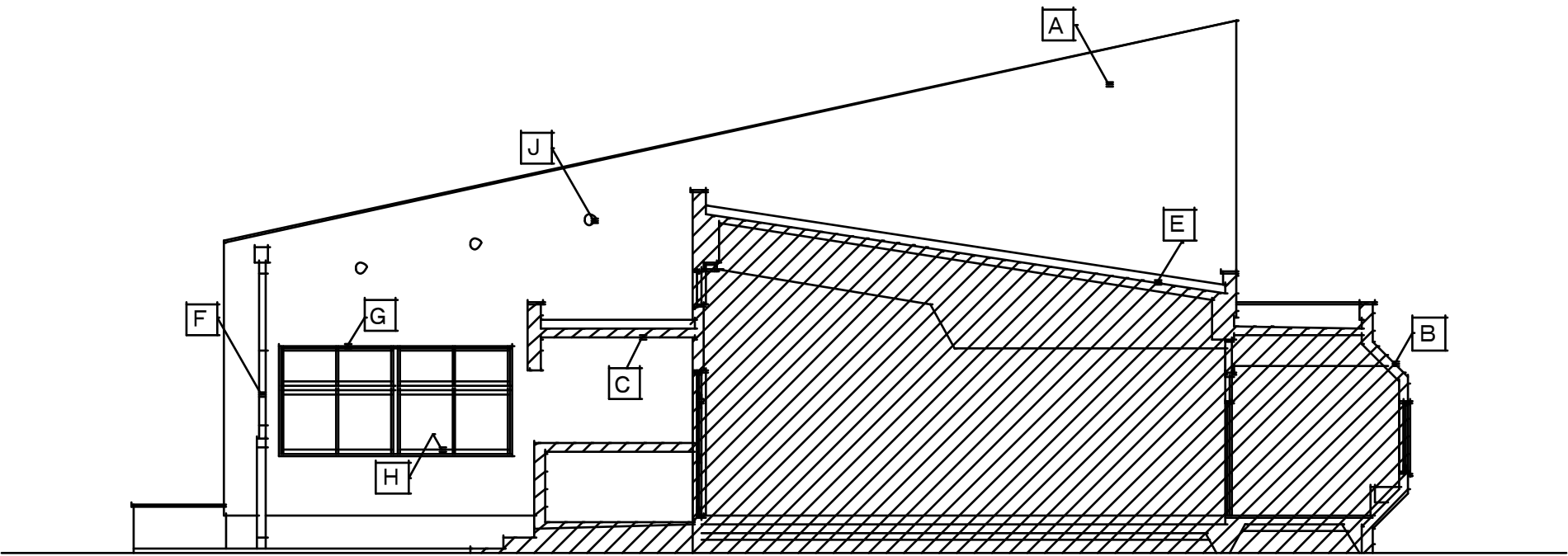


南面図 1/100

符 号	工事名・現況仕上	撤去工事・準備工事	改修工事
A	外壁改修工事 コンクリート打放シ ロック吹付（厚付）	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ 10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材
B	外壁改修工事 モルタルヌリ刷毛引 吹付タイル仕上	施工数量調査・目視・打診による確認 マーキング・計測・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ 10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材
C	軒天改修工事	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：サンダー工法 RB種	ひび割れ部分の改修 水性反応硬化形軒天塗料塗り
D	塗装改修工事 外流し：モルタル塗コチ押え AEP（2回塗）	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ 10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 EP-G塗り ケレン清掃 RB種
E	屋根防水改修工事 シート防水	既設シート防水撤去処分 アルミ押えアングル撤去処分 ルーフドレン撤去処分	ウレタン塗膜防水：X-1 緩衝工法・仕上塗装塗り ：X-2 密着工法・仕上塗装塗り 改修用二重ドレン 等
F	とい工事（改修）	塩ビ堅樋・養生管・集水器 撤去処分	カラー塩ビ堅樋：100Φ、125Φ 集水器・樋カバー（一部加工）
G	シーリング工事（改修）	シーリング撤去処分	変成シリコーン系（2成分形）10×10
H	ガラス部シーリング	ビート撤去処分 （両面）	シリコーン系 （1成分形） 片面 5×5程度（両面施工） バックアップ材共
J	換気孔塗装改修工事		弱溶剤2液シリコン系塗料塗り、下地調整材共 ケレン清掃、 RB種



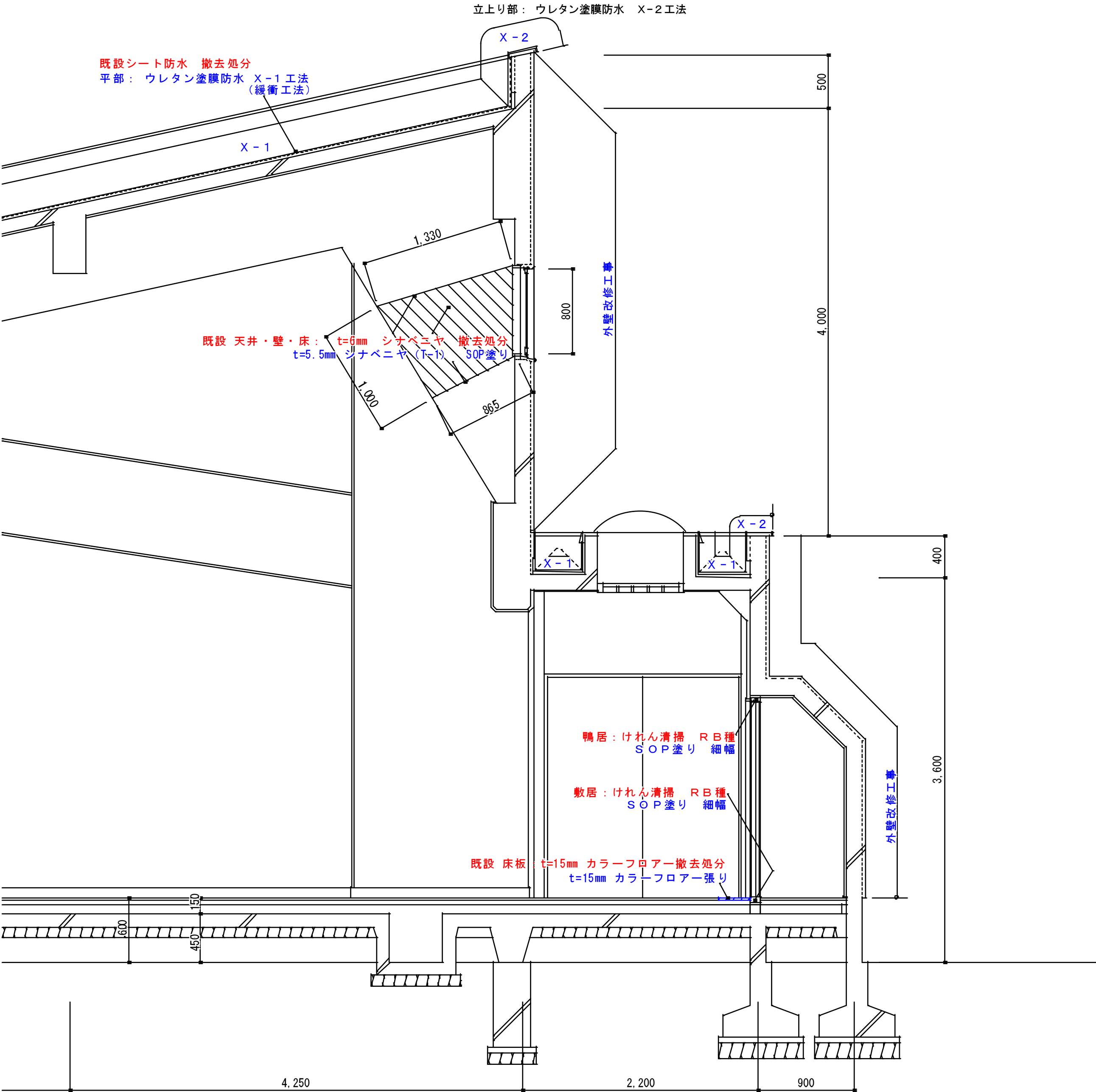
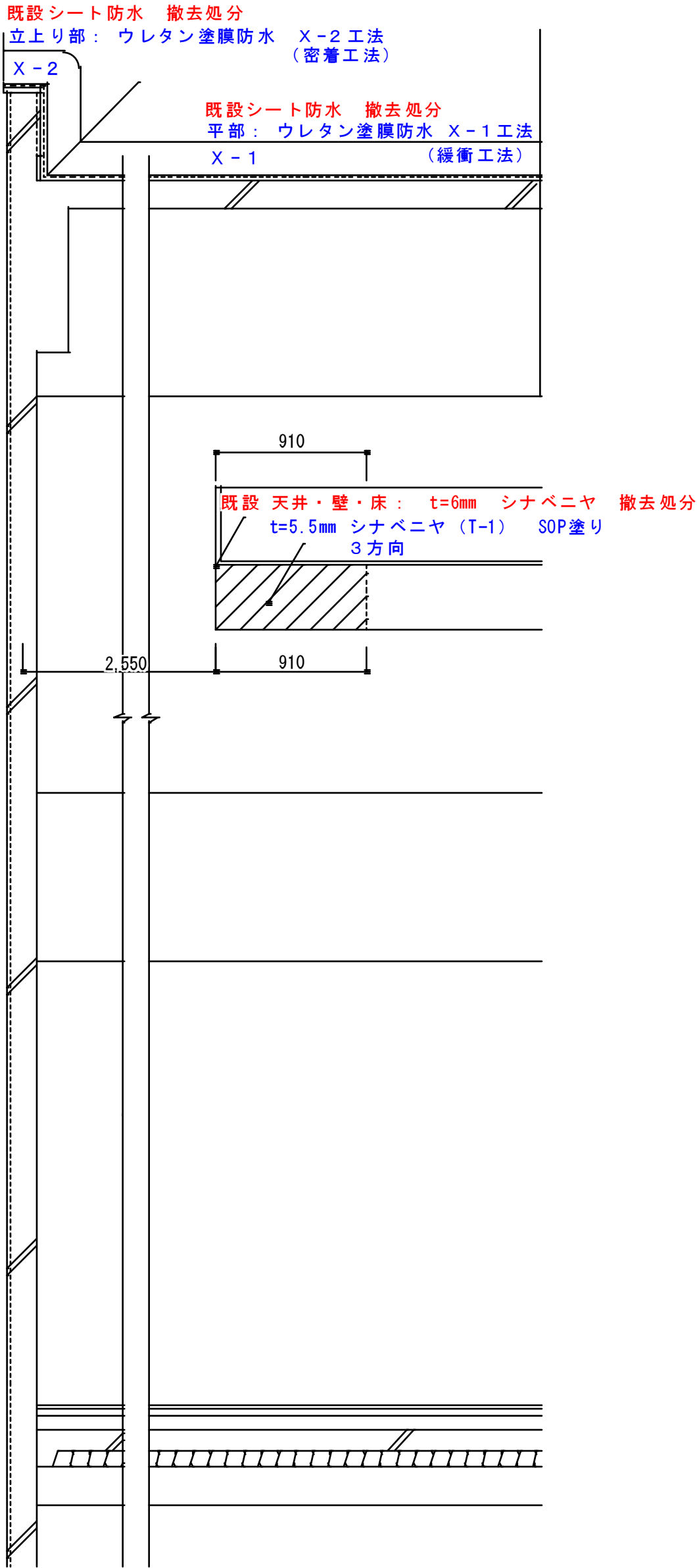
北面図 1/100



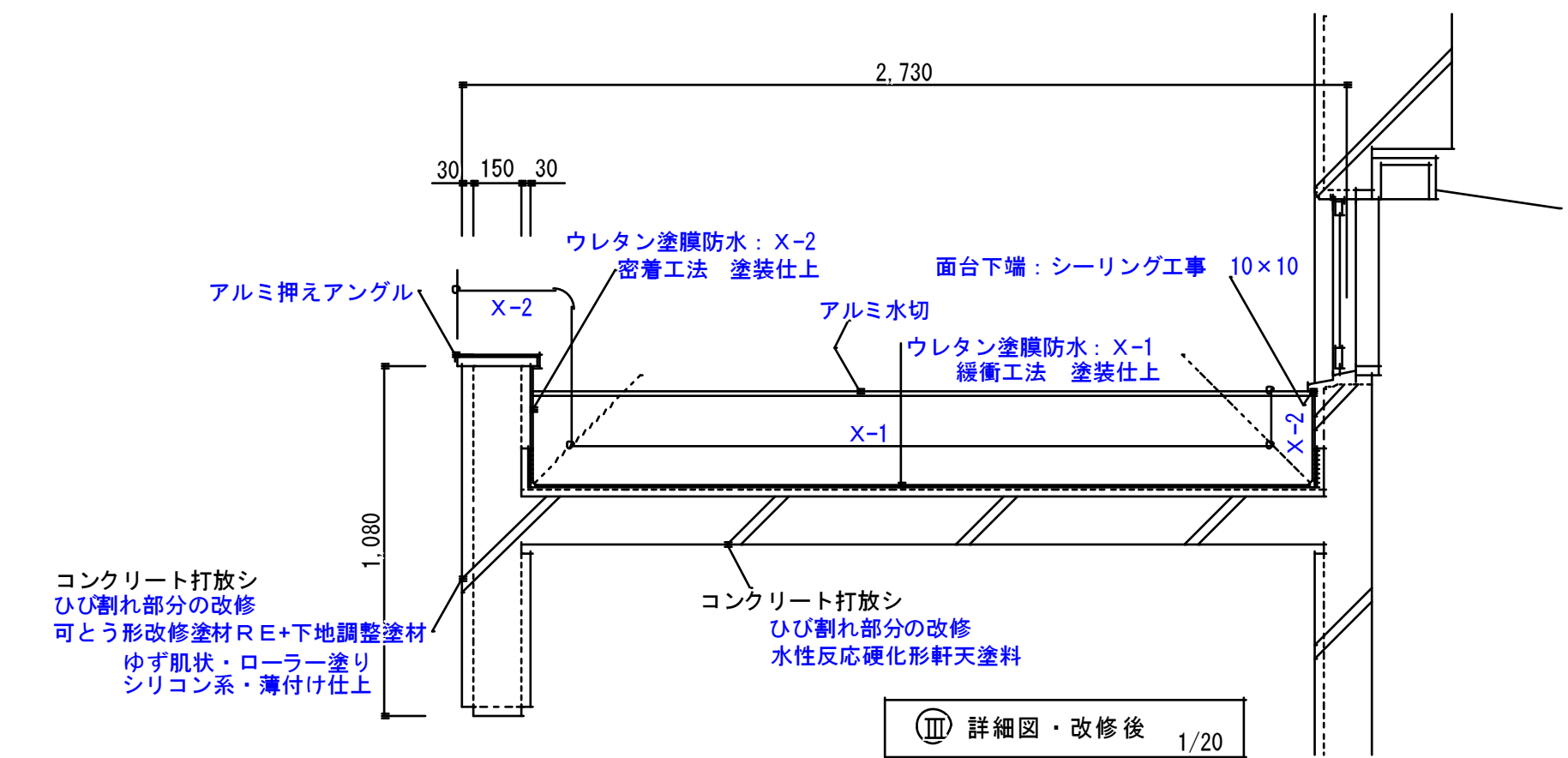
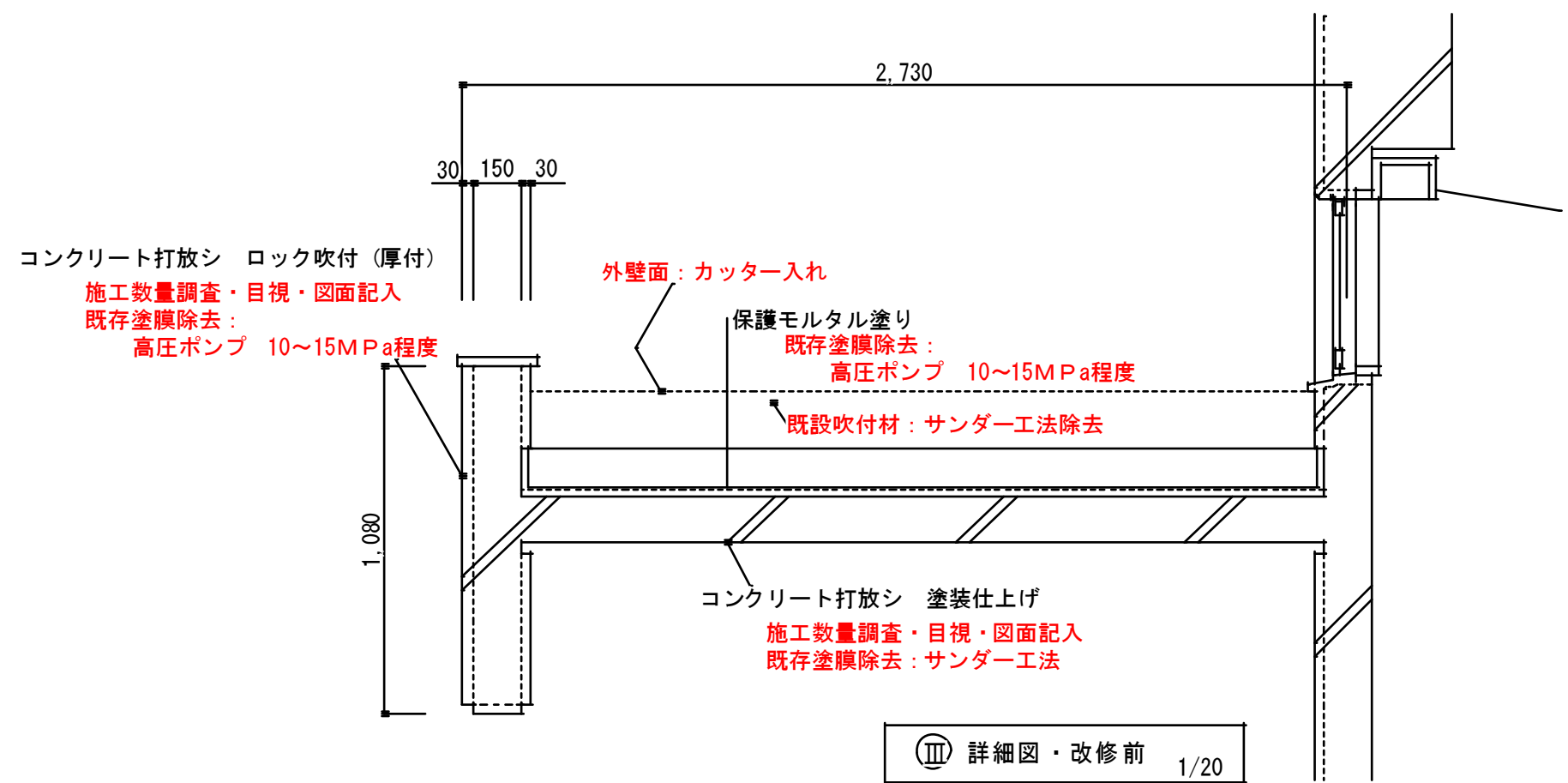
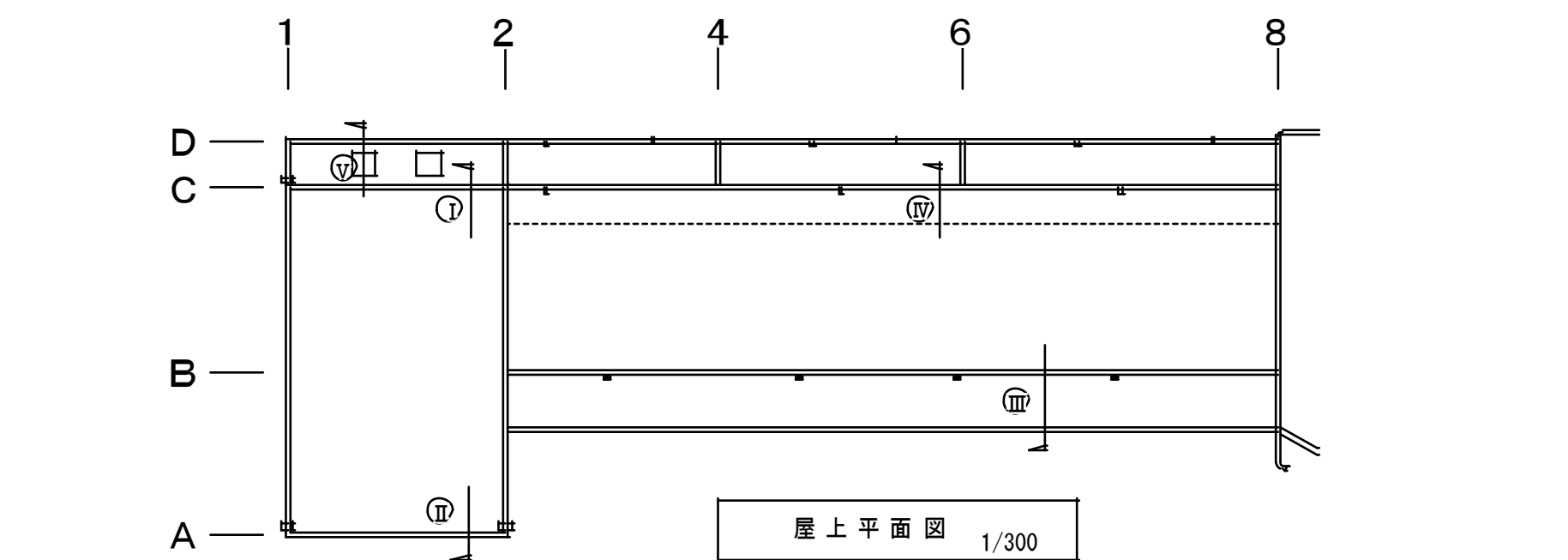
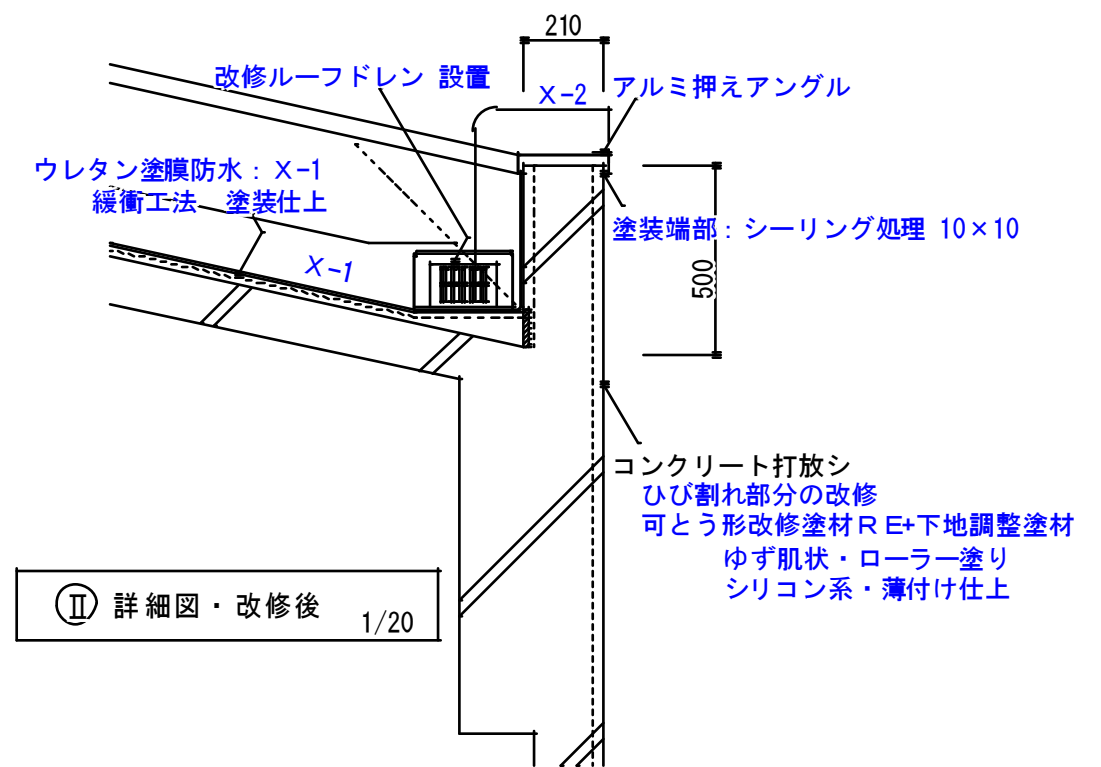
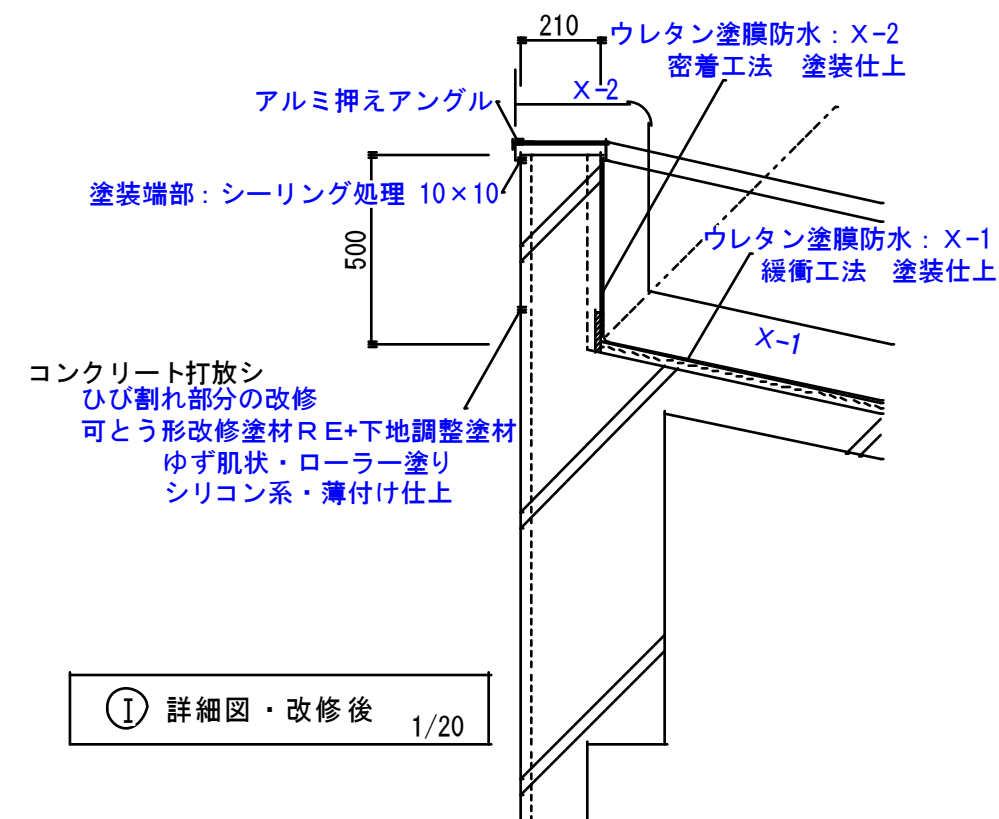
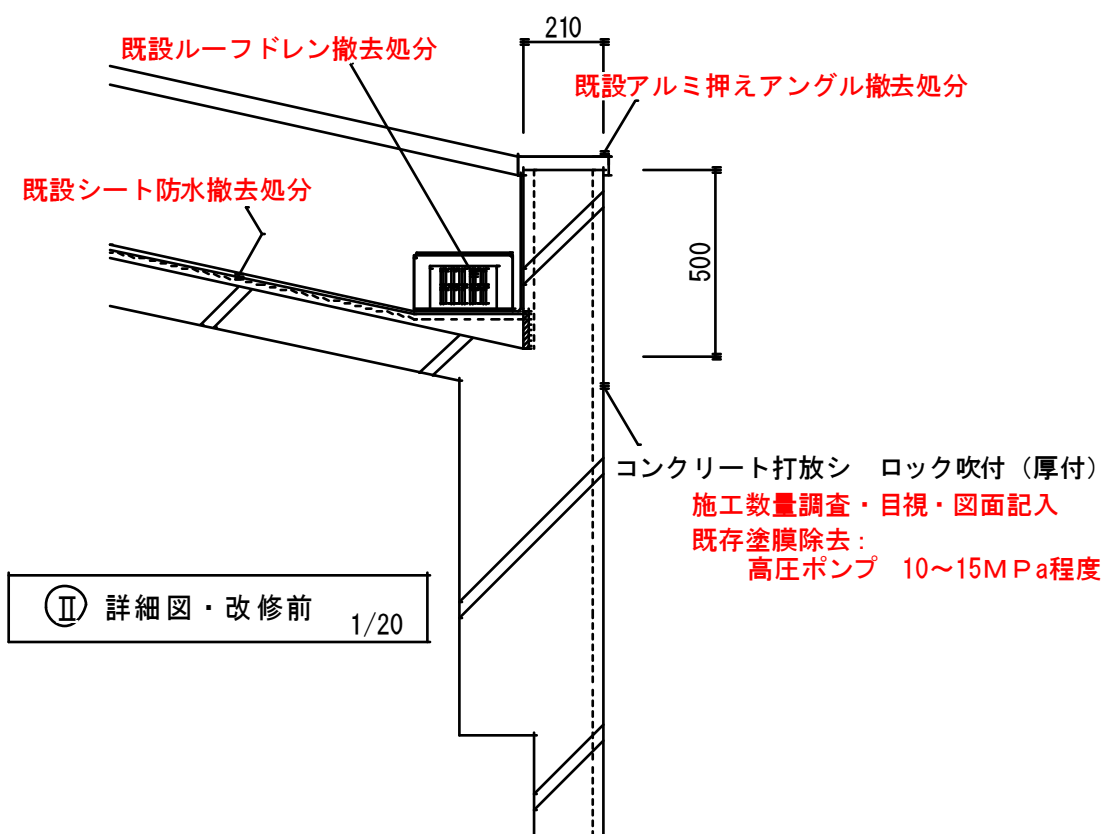
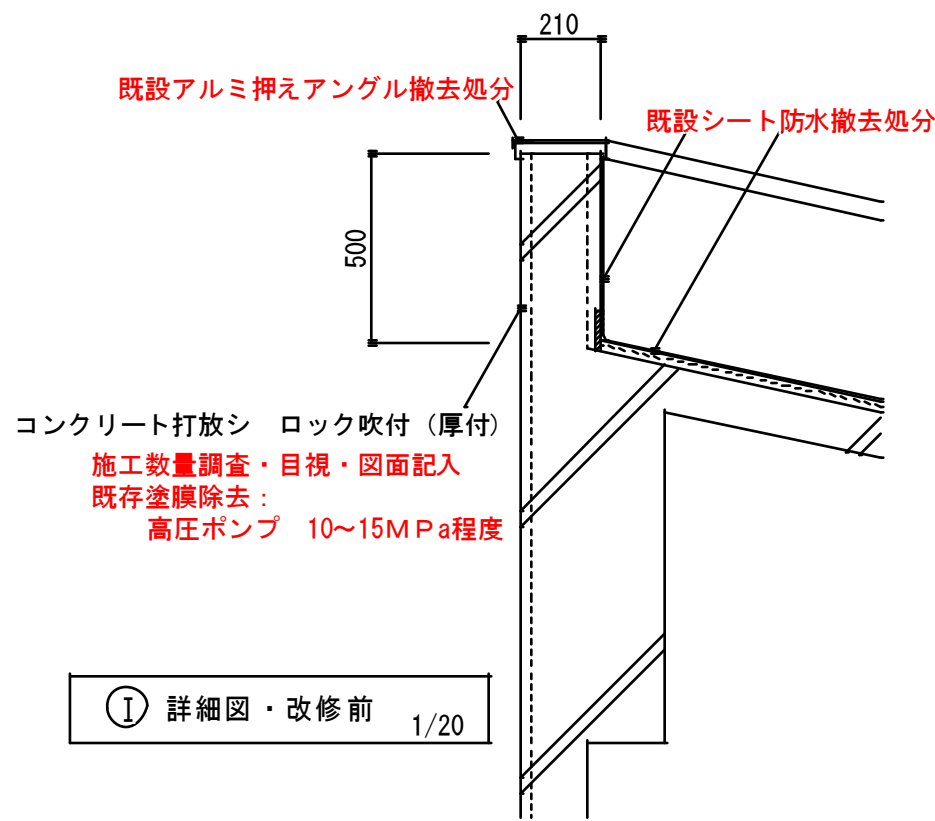
東面図 1/100

符 号	工事名・現況仕上	撤去工事・準備工事	改修工事
A	外壁改修工事 コンクリート打放シ ロック吹付（厚付）	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ 10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材
B	外壁改修工事 モルタルヌリ刷毛引 吹付タイル仕上	施工数量調査・目視・打診による確認 マーキング・計測・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ 10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 可とう形改修塗材RE ゆず肌状・ローラー塗り・シリコン系・薄付け仕上 下地調整塗材
C	軒天改修工事	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：サンダー工法 RB種	ひび割れ部分の改修 水性反応硬化形軒天塗料塗り
D	塗装改修工事 外渡し：モルタル塗コテ押え AEP（2回塗）	施工数量調査・目視・図面記入 既存塗膜除去：高圧ポンプ 10～15MPa程度	ひび割れ部分の改修 EP-G塗り ケレン清掃 RB種
E	屋根防水改修工事 シート防水	既設シート防水撤去処分 アルミ押えアングル撤去処分 ルーフドレン撤去処分	ウレタン塗膜防水：X-1 緩衝工法・仕上塗装塗り ：X-2 密着工法・仕上塗装塗り 改修用二重ドレン 等
F	とい工事（改修）	塩ビ縦樋・養生管・集水器 撤去処分	カラー塩ビ縦樋：100Φ、125Φ 集水器・樋カバー（一部加工）
G	シーリング工事（改修）	シーリング撤去処分	変成シリコーン系（2成分形）10×10
H	ガラス部シーリング	ビート撤去処分 （両面）	シリコーン系 （1成分形） 片面 5×5程度（両面施工） バックアップ材共
J	換気孔塗装改修工事		弱溶剤2液シリコン系塗料塗り、下地調整材共 ケレン清掃、RB種

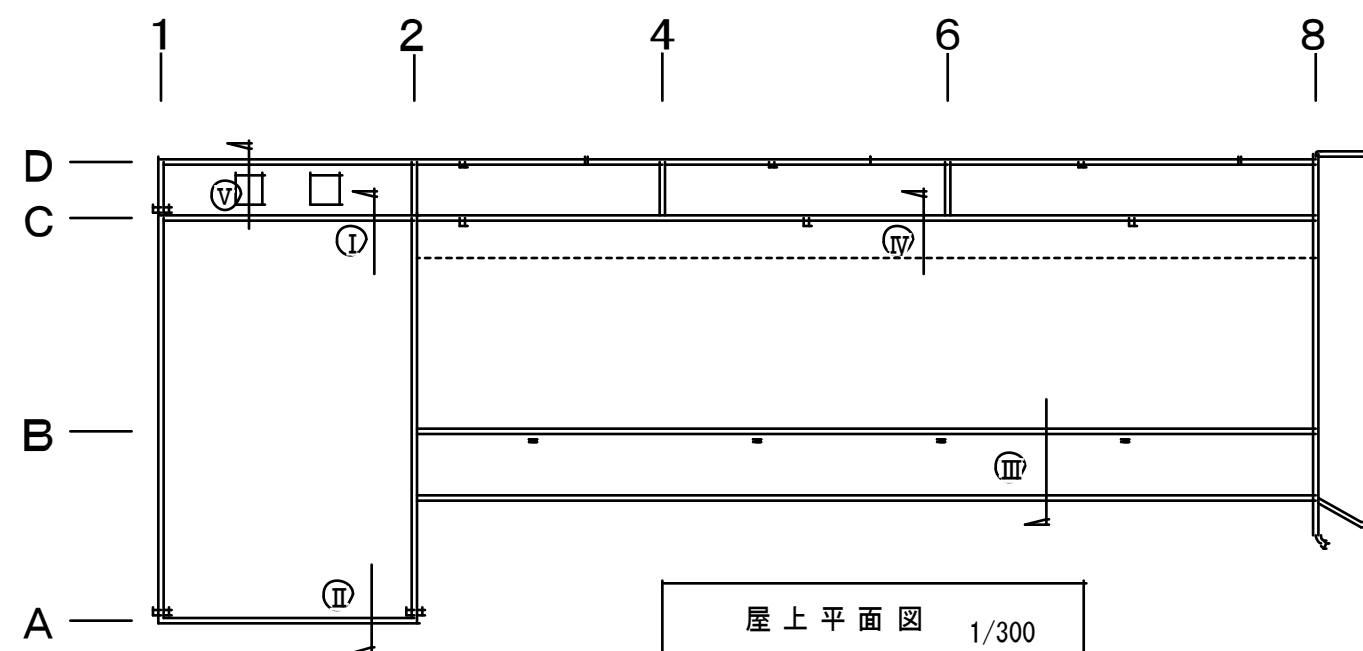




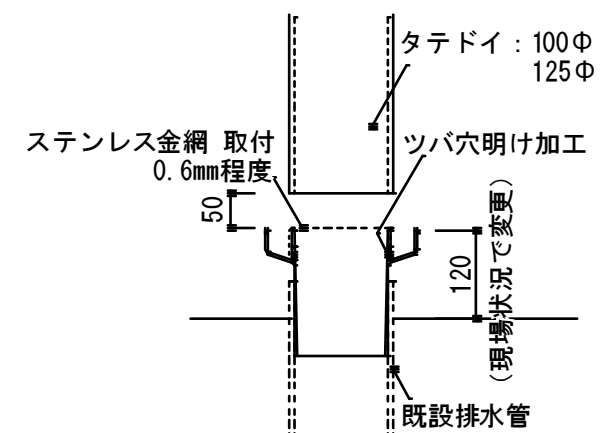
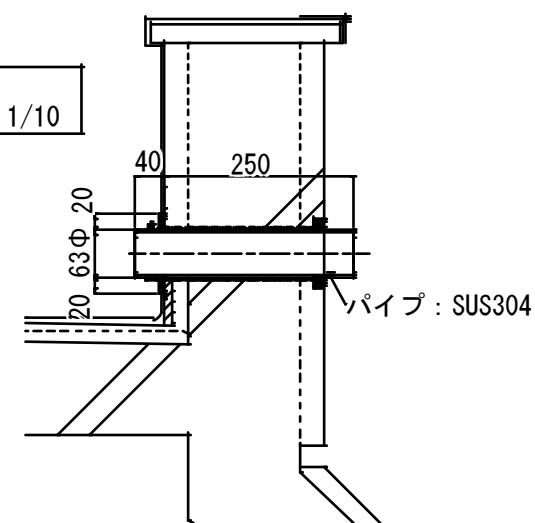




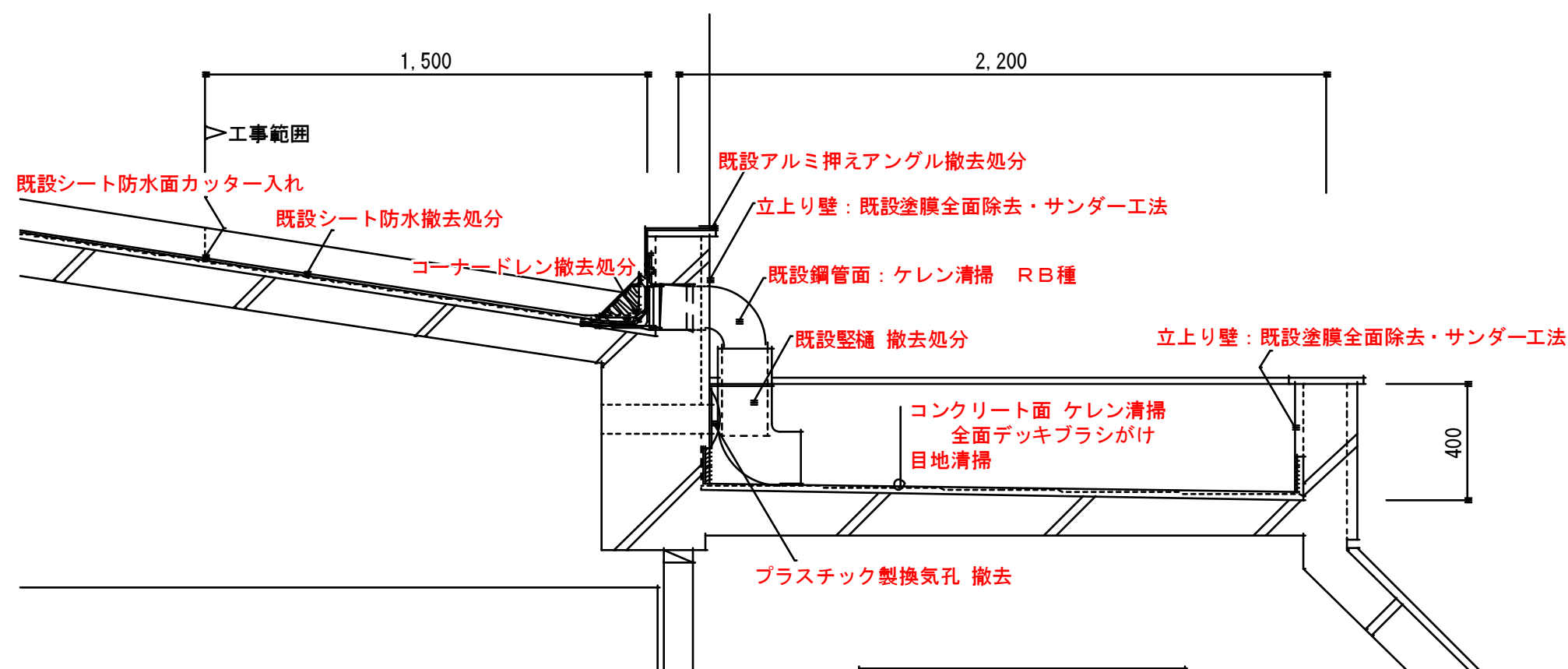
訂正	工事名称 平成29年度 安乗保育所改修工事 設計図	設計 片山	建築設計 間34 マサンヨシ	三重県知事登録 第1-2154号	一級建築士 大臣登録 第195765号 片山正司	図面名 防水詳細図 1	縮尺 A3：A2×71% S=1：20	図面番号 A-11
----	------------------------------	----------	----------------------	------------------	-----------------------------	----------------	---------------------------	--------------



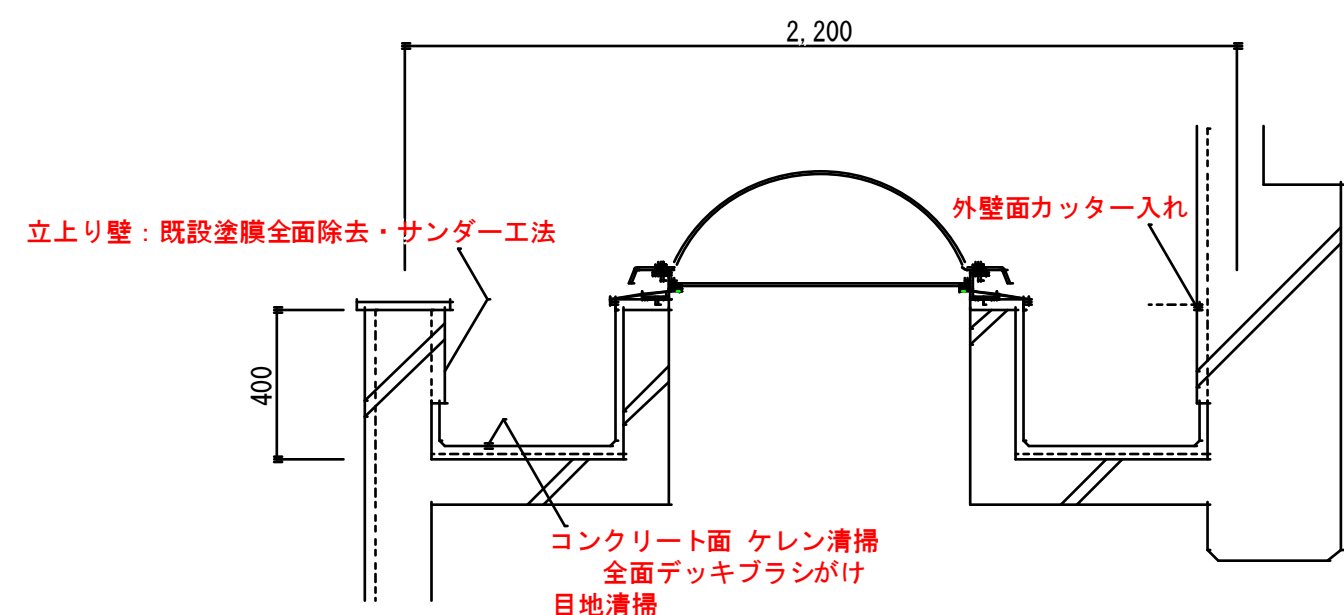
オーバーフロー管収まり詳細図 1/10



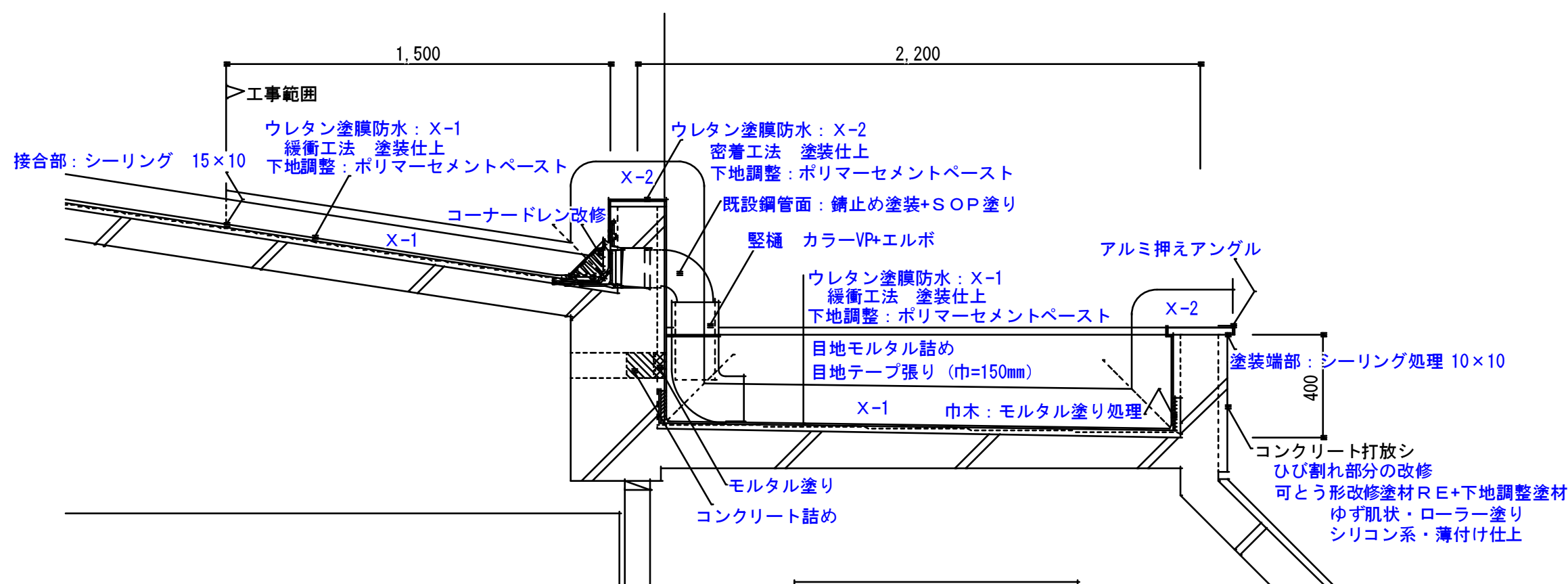
樋カバー収まり詳細図 1/10



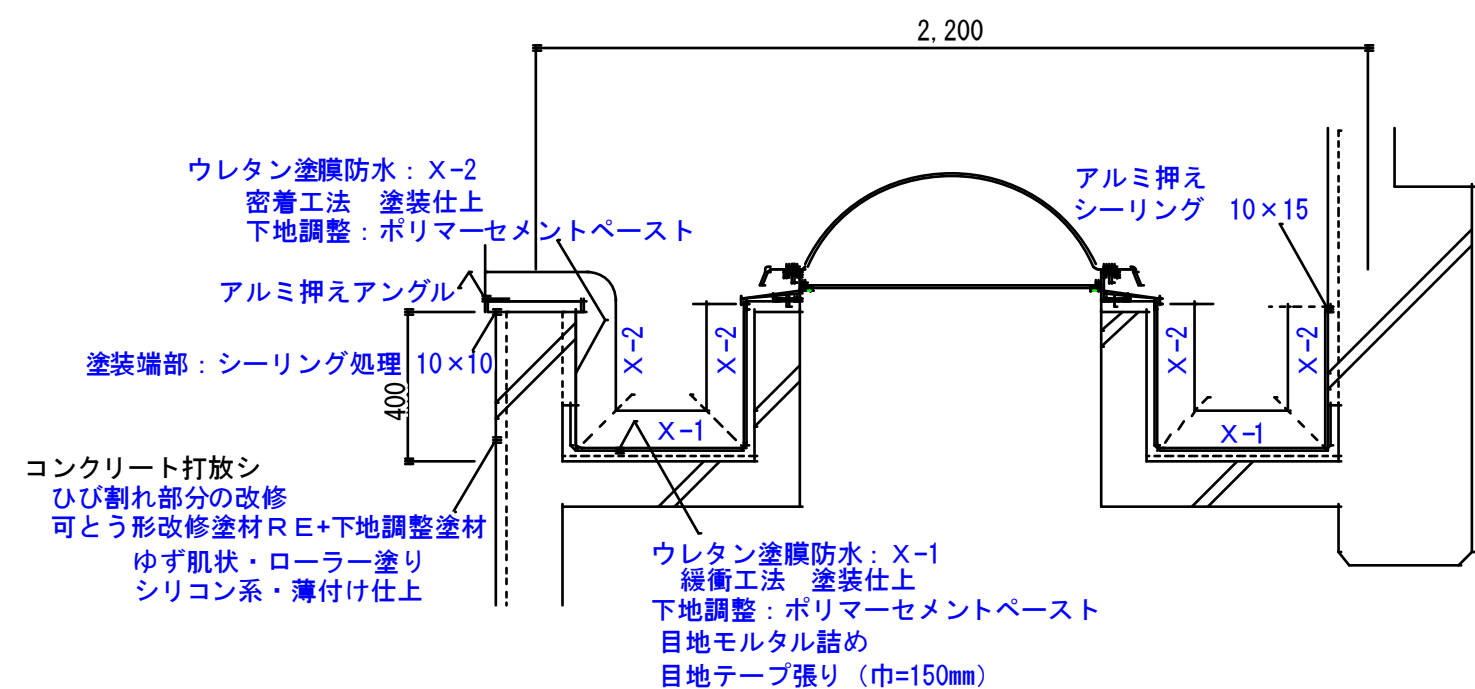
Ⅳ 詳細図・改修後 1/20



Ⅴ 詳細図・改修後 1/20

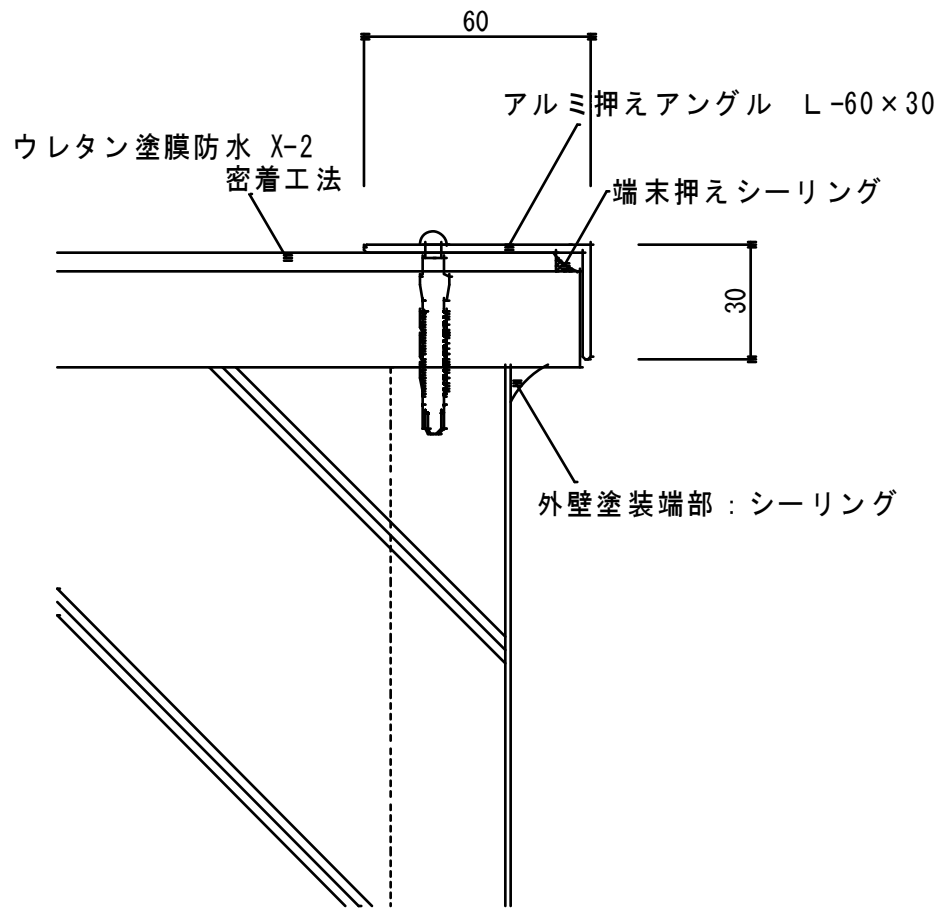
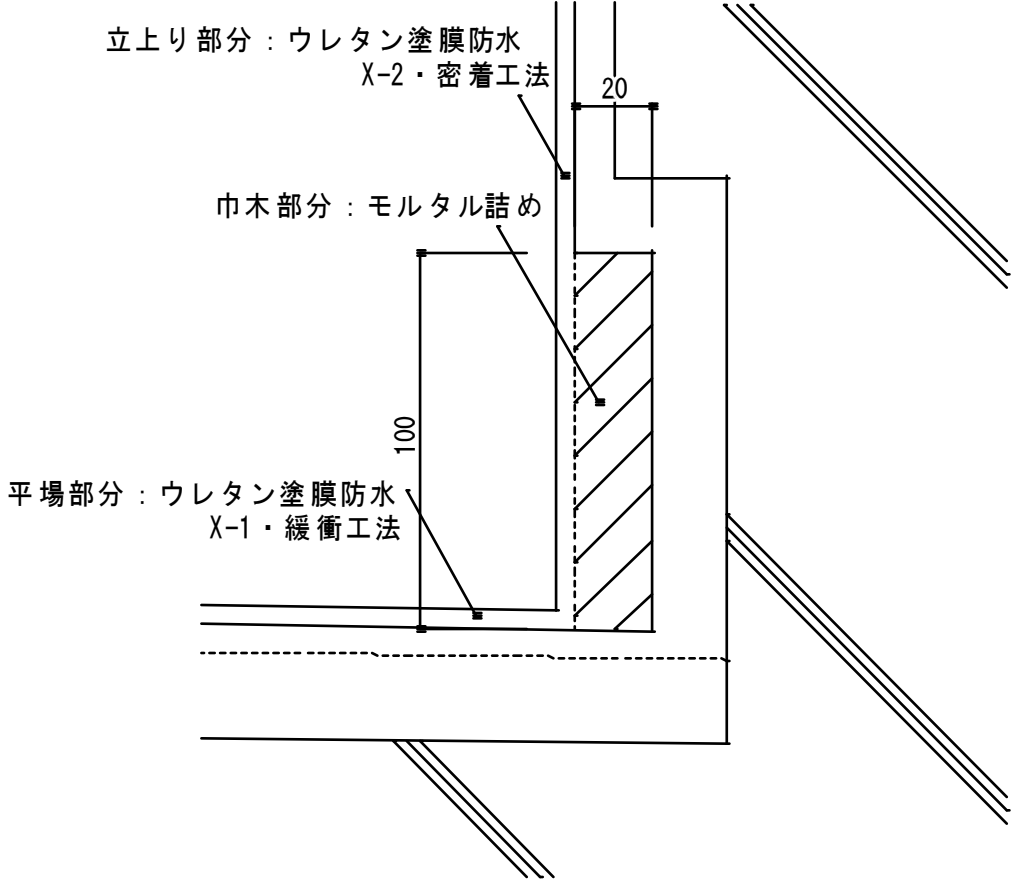
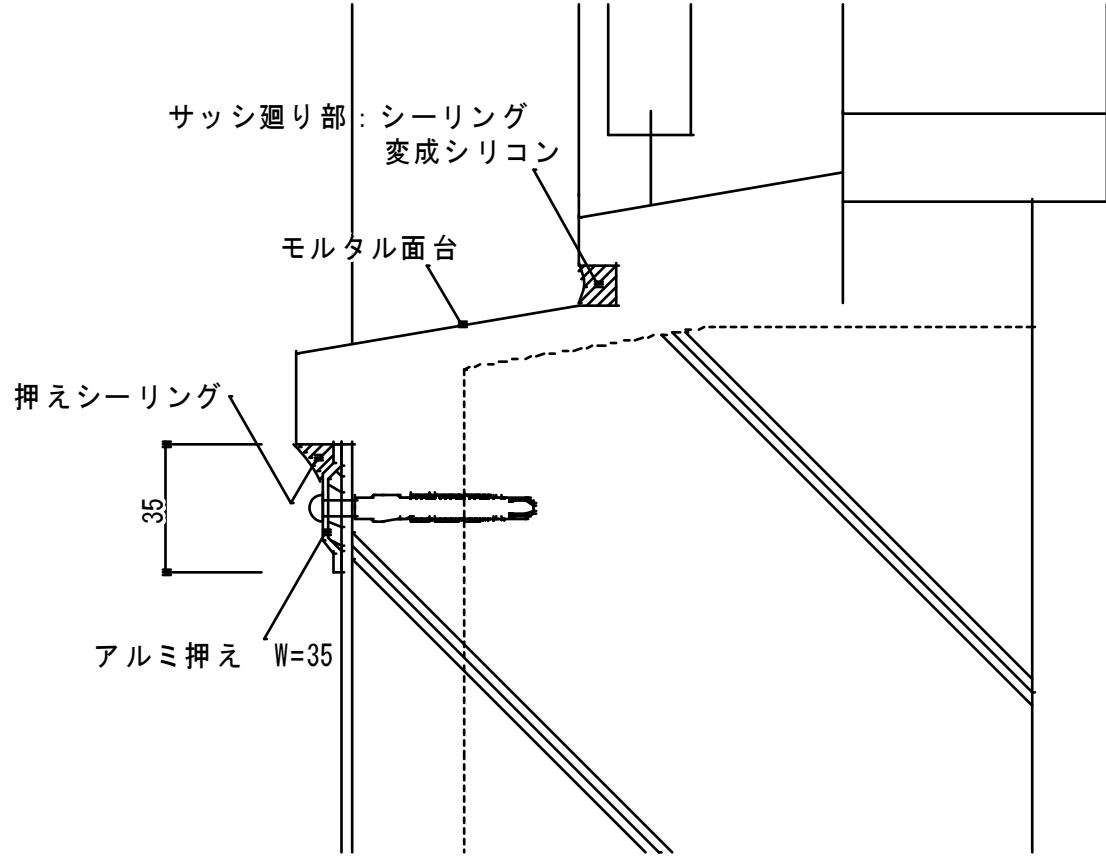
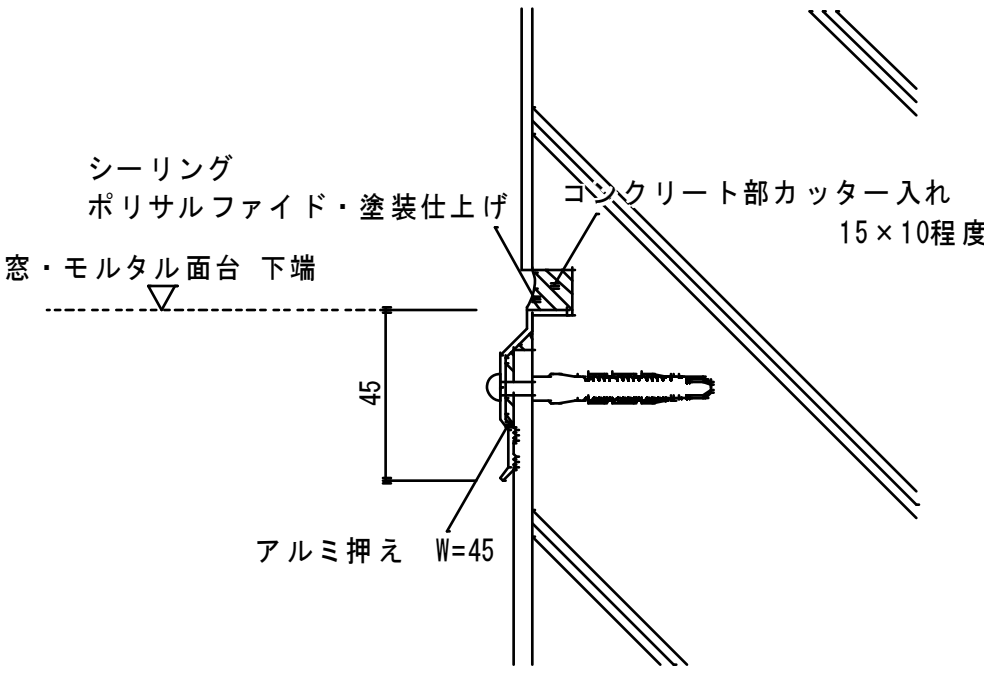
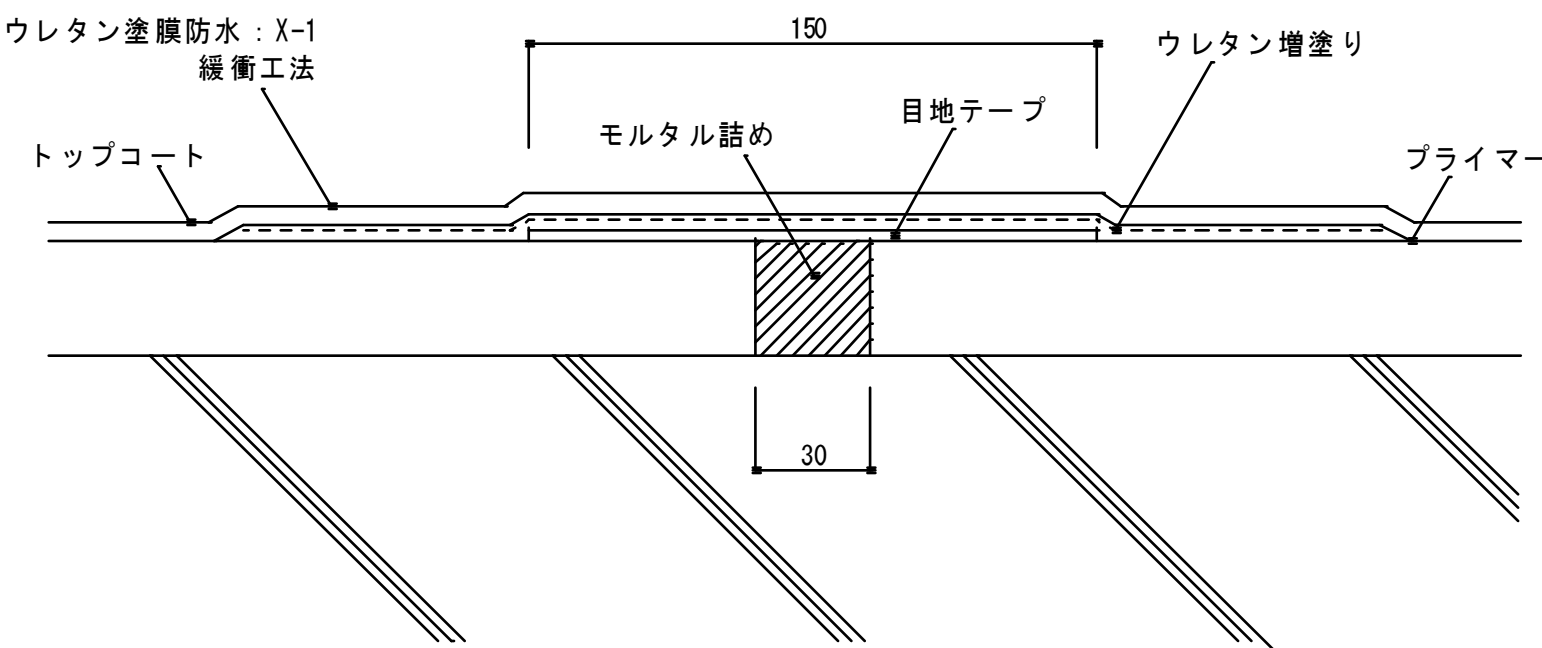
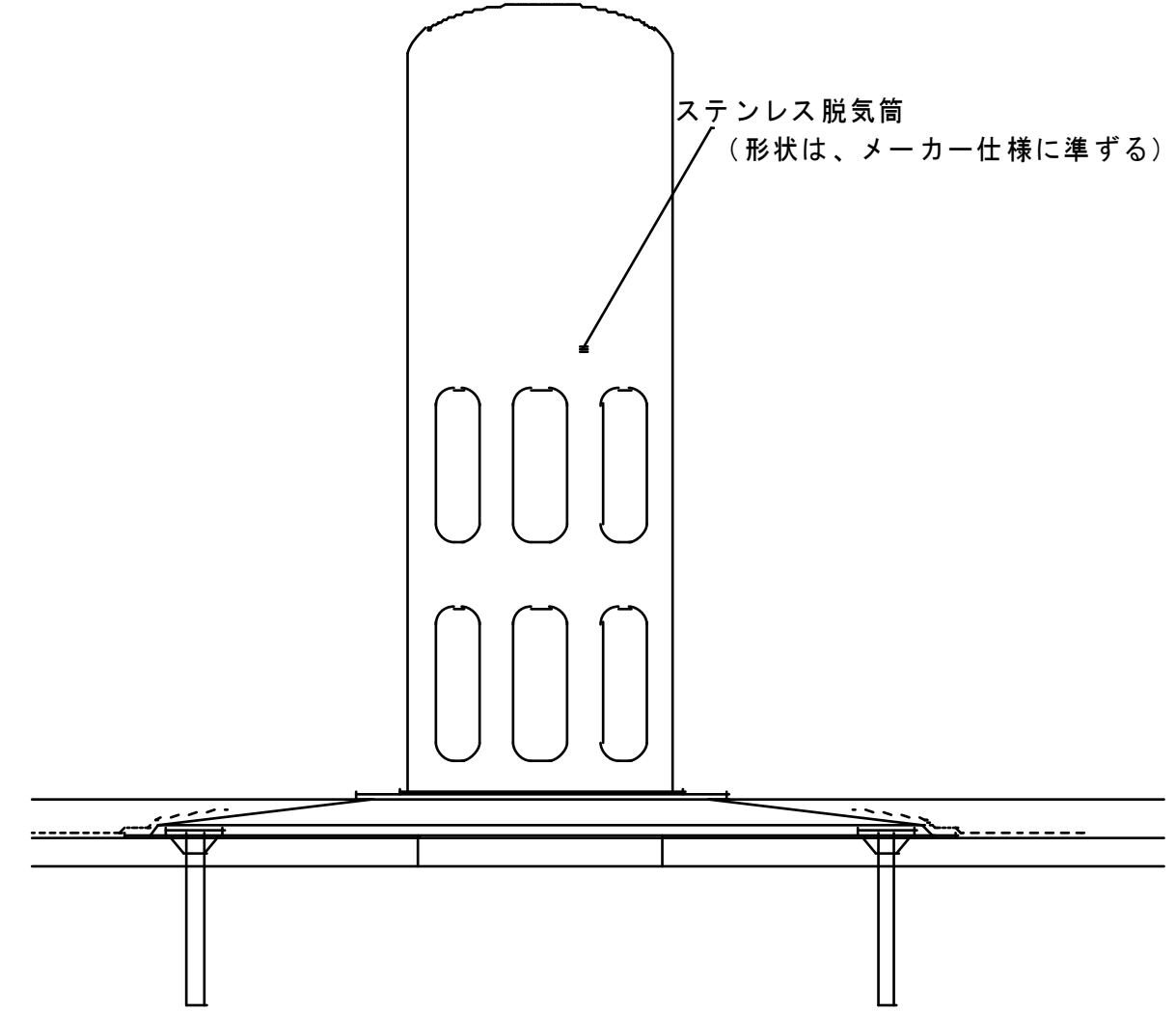


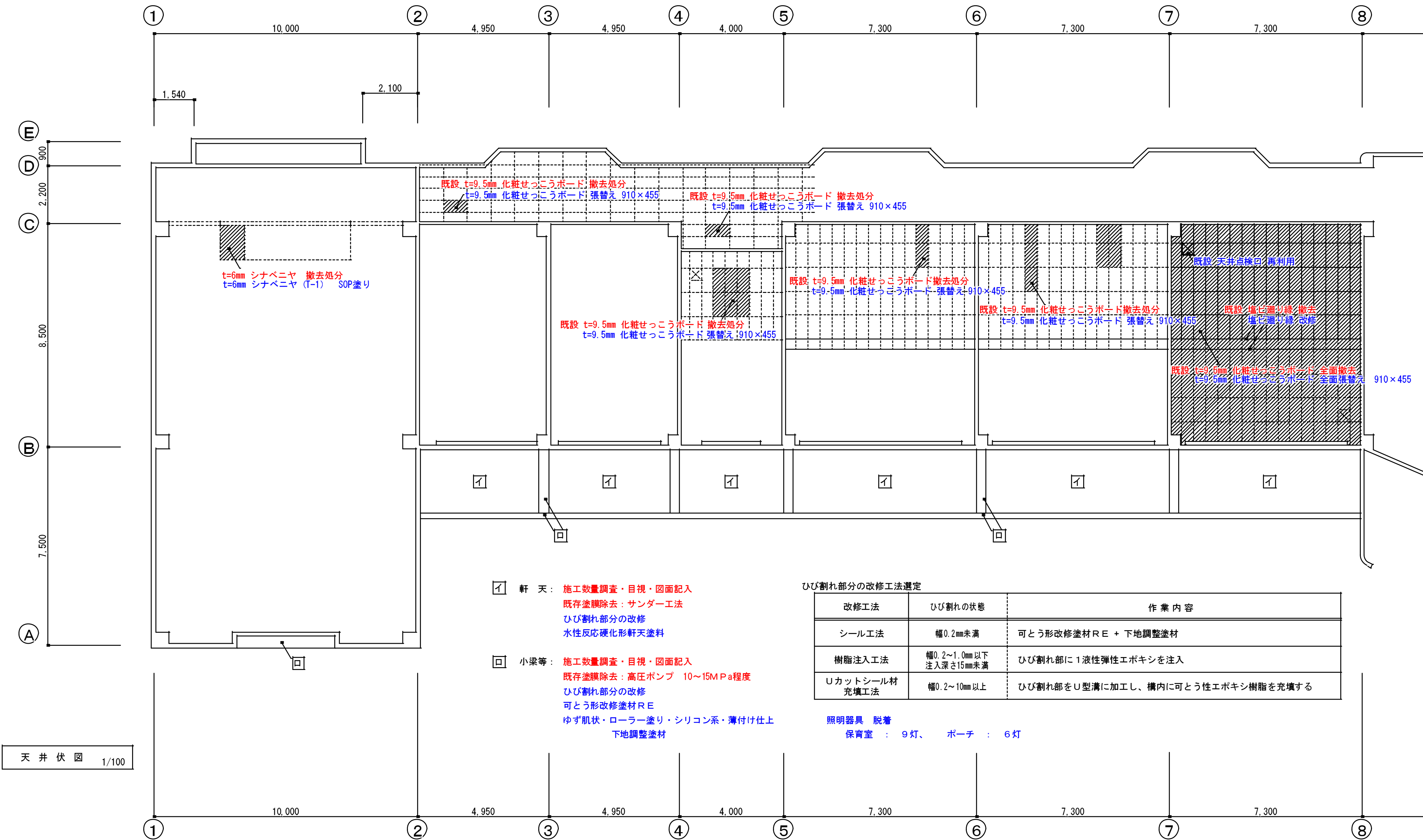
Ⅳ 詳細図・改修後 1/20



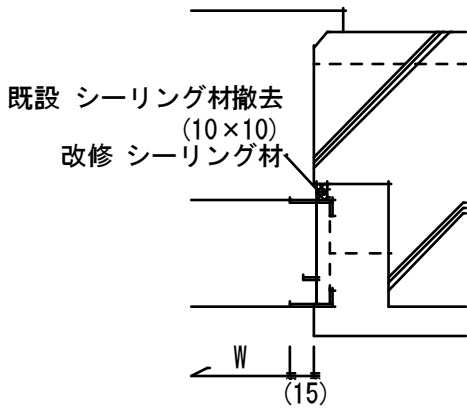
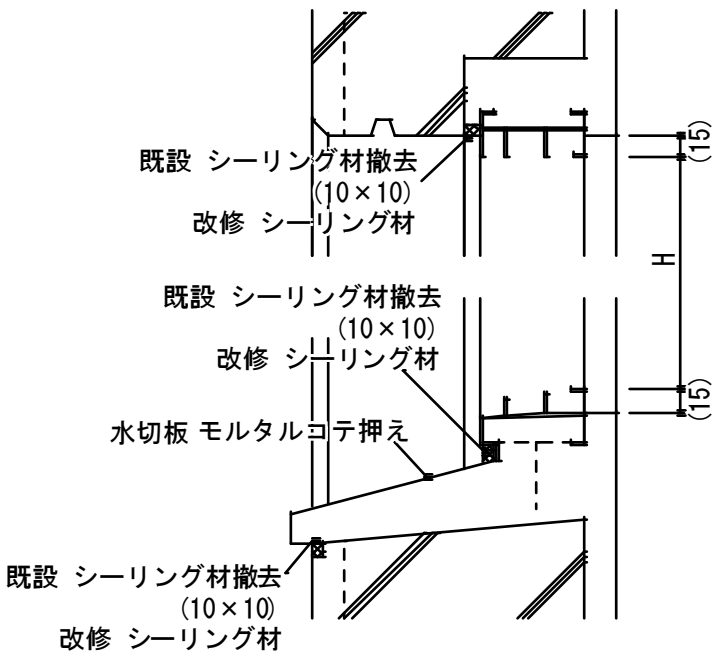
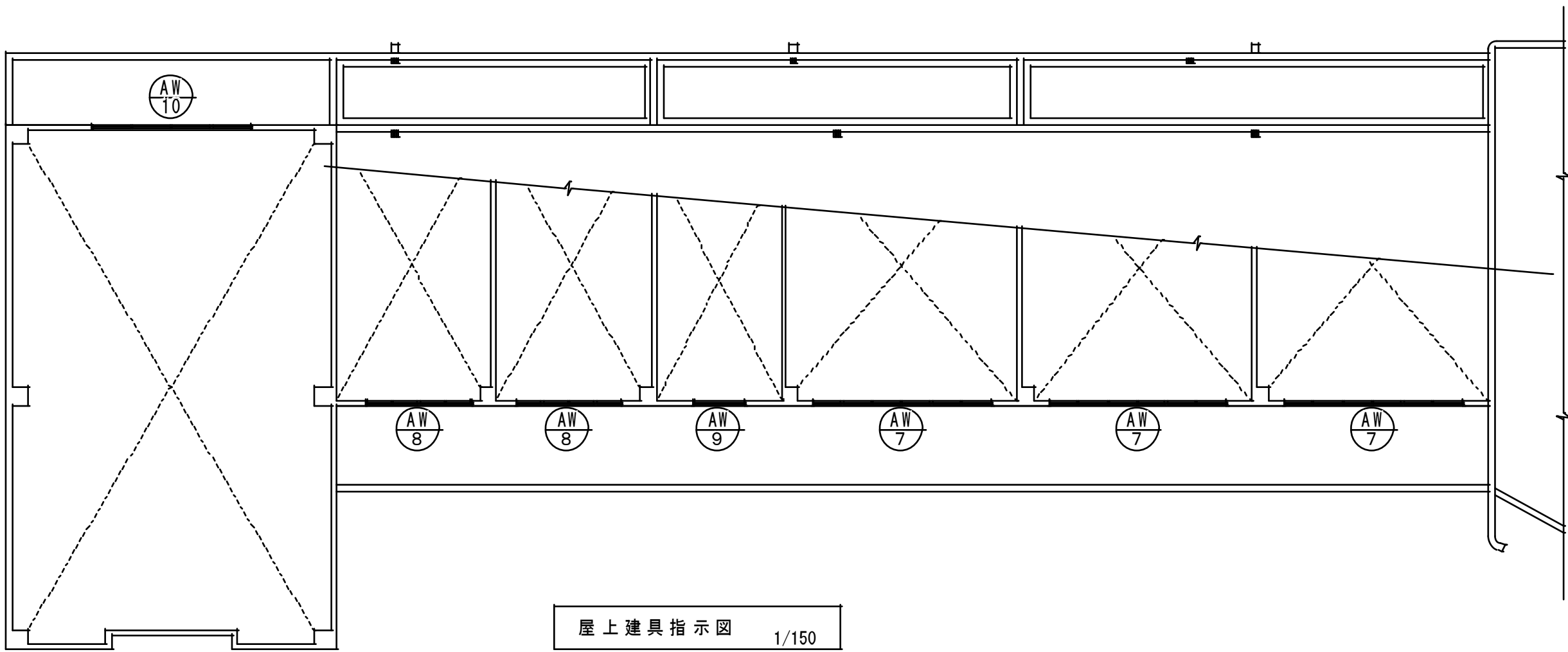
Ⅴ 詳細図・改修後 1/20

訂正	工事名称 平成 29 年度 安乗保育所改修工事 設計図	設計 片 山	建築設計 間 34 マ サ ン ヨ ン	三重県知事登録 第1-2154号	一級建築士 大臣登録 第195765号 片 山 正 司	図面名 防水詳細図 2	縮 尺 A3 : A2×71% S=1 : 20	図面番号 A-12
----	--------------------------------	-----------	------------------------	------------------	--------------------------------	----------------	--------------------------------	--------------

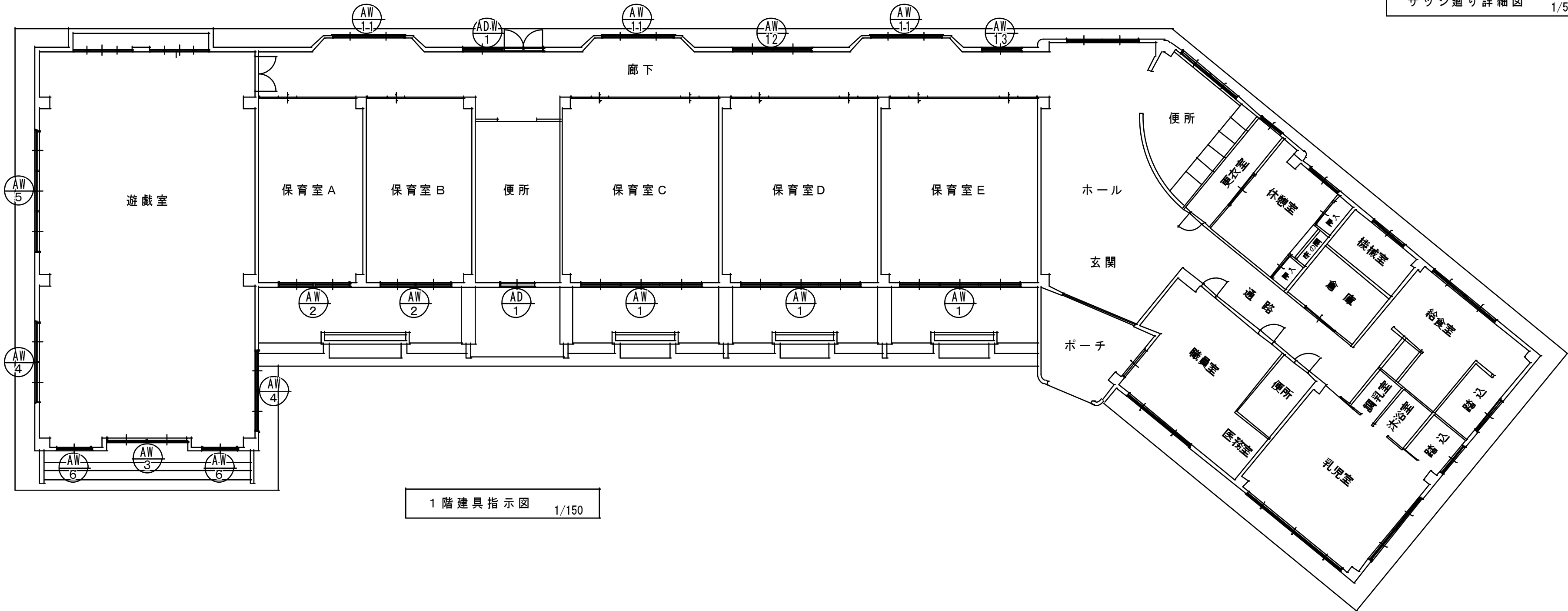
笠木部分 収まり詳細図		1/2	スラブ巾木部分 収まり詳細図		1/2	窓面台部分 収まり詳細図		1/2
 <p>60 アルミ押えアングル L-60×30 ウレタン塗膜防水 X-2 密着工法 端末押えシーリング 30 外壁塗装端部：シーリング</p>			 <p>立上り部分：ウレタン塗膜防水 X-2・密着工法 巾木部分：モルタル詰め 20 100 平場部分：ウレタン塗膜防水 X-1・緩衝工法</p>			 <p>サッシ廻り部：シーリング 変成シリコン モルタル面台 押えシーリング 35 アルミ押え W=35</p>		
壁・カッター入れ部分 詳細図		1/2	目地部分 収まり詳細図		1/2	脱気筒 収まり詳細図		1/3
 <p>シーリング ポリサルファイド・塗装仕上げ 窓・モルタル面台 下端 45 アルミ押え W=45 コンクリート部カッター入れ 15×10程度</p>			 <p>ウレタン塗膜防水：X-1 緩衝工法 150 モルタル詰め 目地テープ ウレタン増塗り トップコート 30 プライマー</p>			 <p>ステンレス脱気筒 (形状は、メーカー仕様に準ずる)</p>		



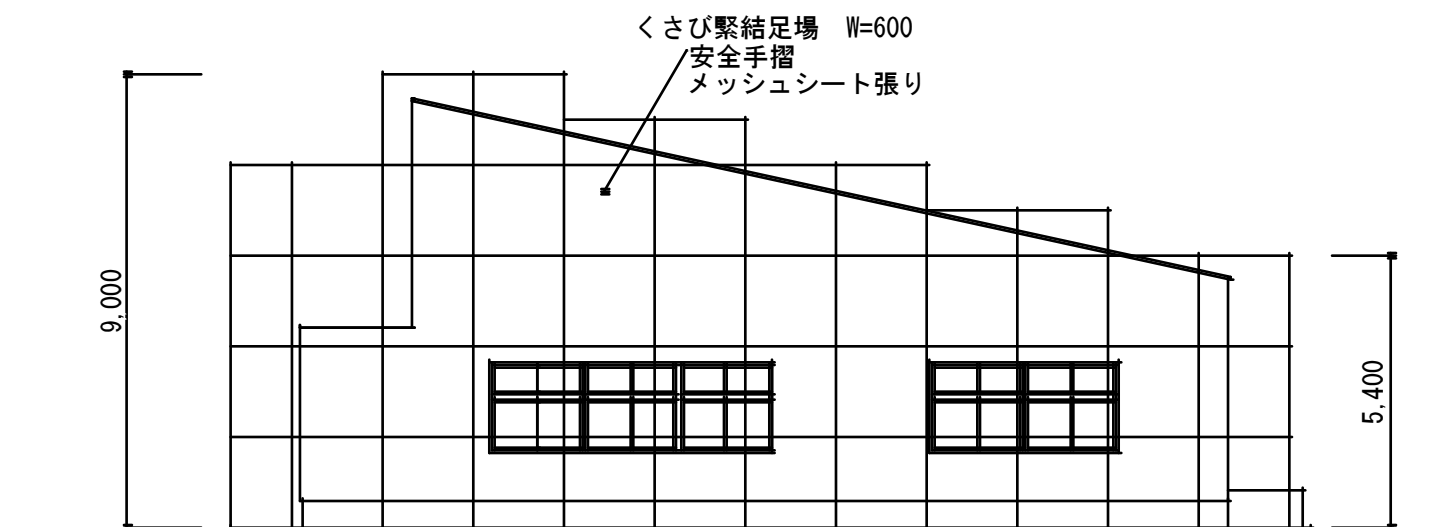




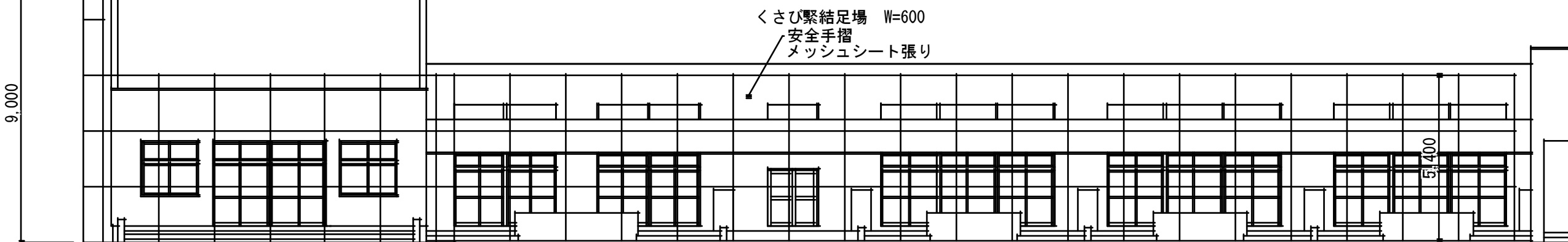
サッシ廻り詳細図 1/5



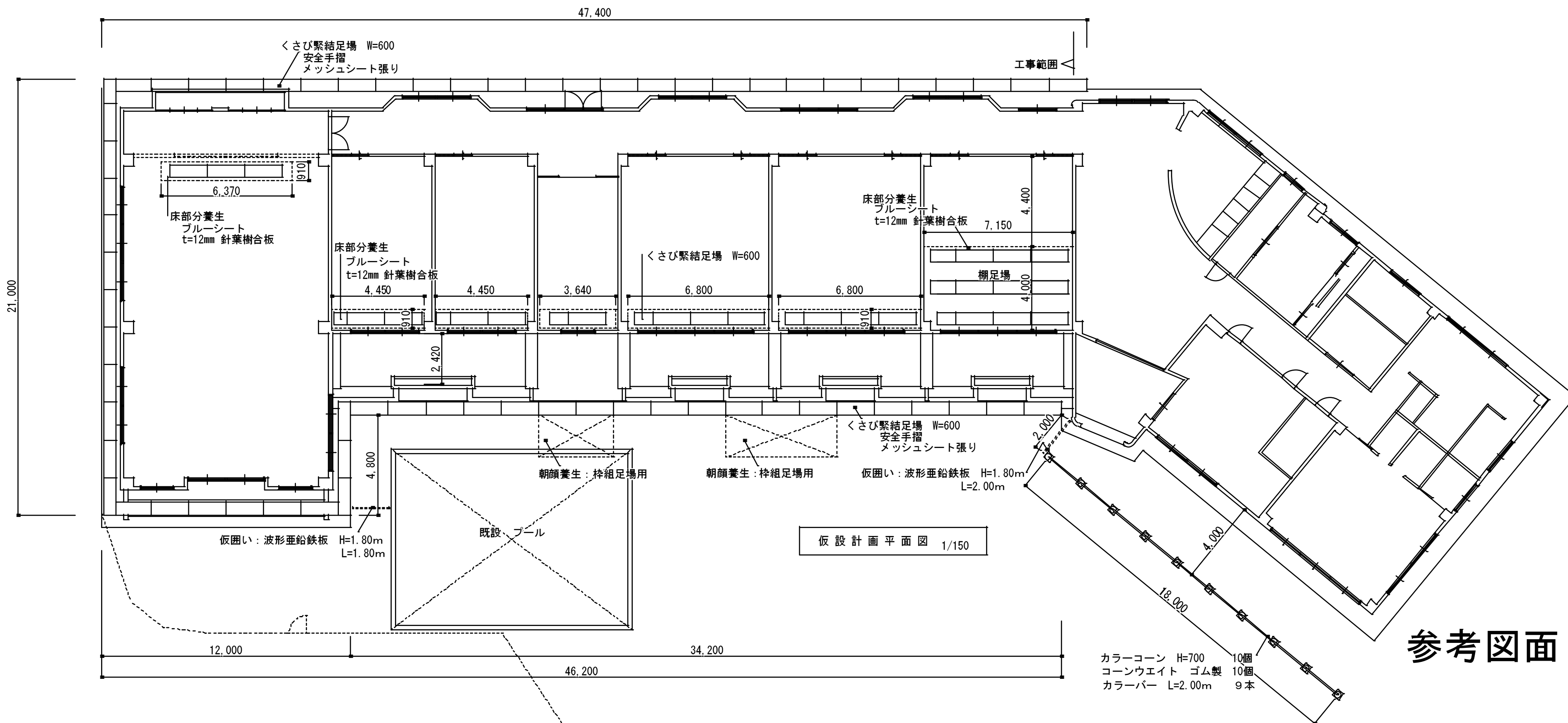
図面番号  
A-16



仮設計画立面図 1/150



仮設計画立面図 1/150



仮設計画平面図 1/150

参考図面

訂正

工事名称

平成29年度 安乗保育所屋根等改修工事

設計図

設計

片山

建築設計 間34

三重県知事登録 第1-2154号

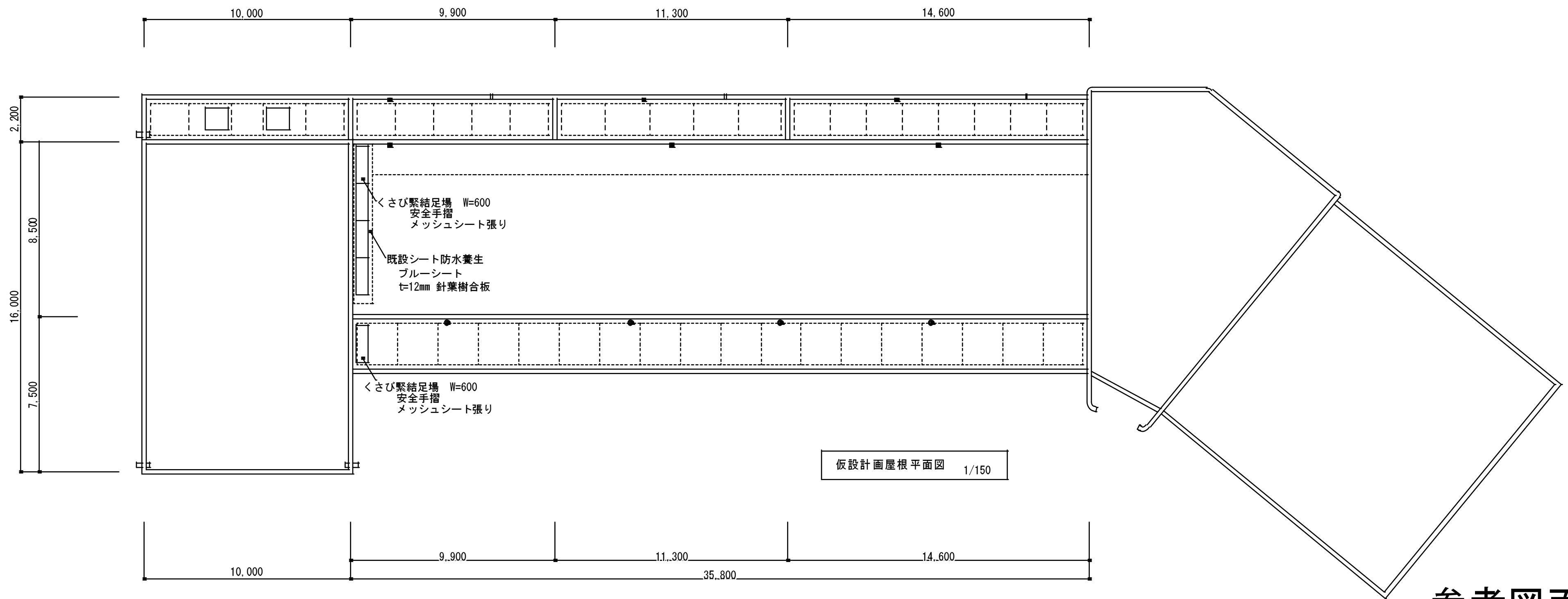
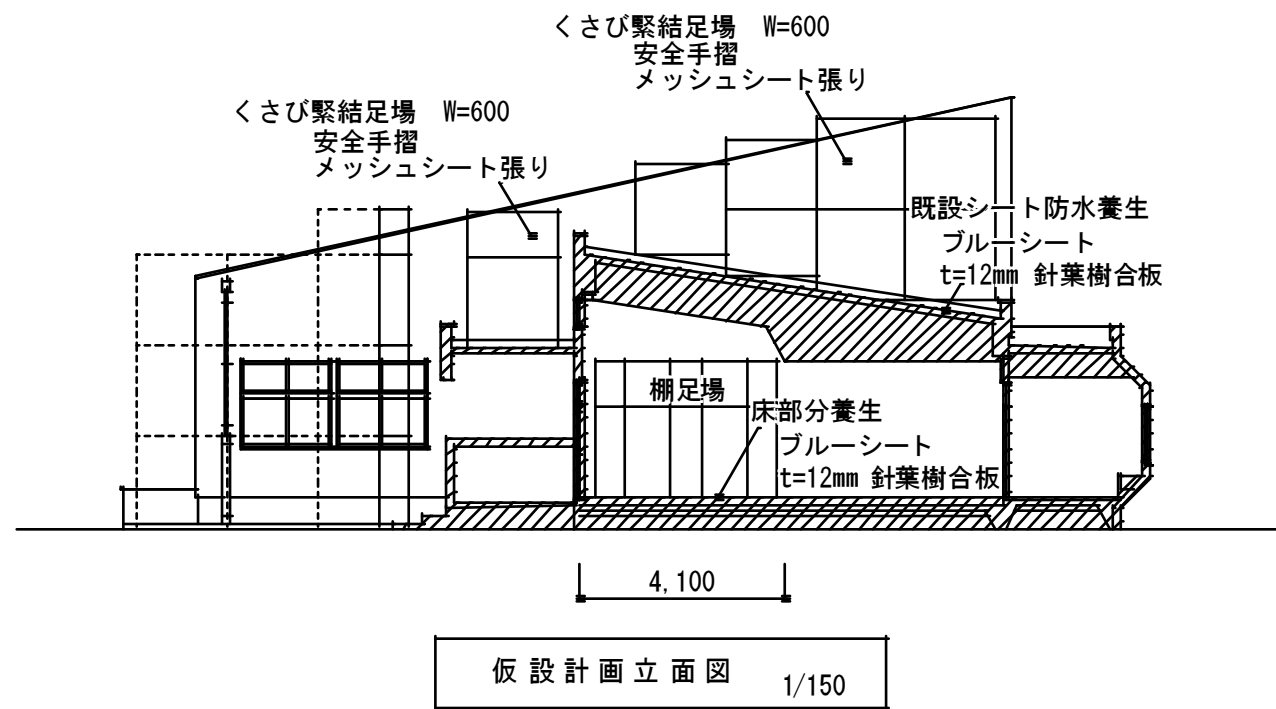
一級建築士 大臣登録 第195765号  
片山 正 司

図面名

仮設計画図 1  
(参考図面)

縮尺 A3 : A2×71%  
1/150

図面番号  
K-01



参考図面

訂正	工事名称 平成29年度 安乗保育所屋根等改修工事 設計図	設計 片山	建築設計 間34 マサンヨシ 三重県知事登録 第1-2154号	一級建築士 大臣登録 第195765号 片山正司	図面名 仮設計画図2 (参考図面)	縮尺 A3:A2×71% 1/150	図面番号 K-02
----	---------------------------------	----------	---------------------------------------	-----------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------